

第八十一回 帝國議會

商工經濟會法案外二件委員會議錄(速記)第二回

昭和十八年二月十八日(木曜日)午前十時二十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 木村 正義君

理事宇田 耕一君理事卯尾田毅太郎君

理事小高長三郎君 理事松尾 三藏君

理事前田 善治君

今井 嘉幸君

内池久五郎君

川上 脩三君

九鬼 紋七君

小坂 武雄君

坂本宗太郎君

田中 亮一君

高岡 條美君

河野 密君

田中和一郎君

高岡 大輔君

高畠龜太郎君

土屋 寛君

船田 星君

本多 鋼治君

星島 二郎君

三木與吉郎君

南 鐵太郎君

同日委員星一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ菅野和太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 岸 信介君

出席政府委員左ノ如シ

農林次官 石黒 武重君

商工省總務局長 神田 雅孝君

商工省企業局長 豊田 雅孝君

商工省機械局長 佐藤笠太郎君

商工省織維局長 西川 浩君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
商工經濟會法案(政府提出、貴族院送付)

商工組合法案(政府提出、貴族院送付)

商工組合中央金庫法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○木村委員長 只今カラ委員會ヲ開會致シマス——通告ニ依リマシテ質疑ニ入りマス——船田中君

○船田委員 私ハ主トシテ商工經濟會法案ノ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、本法案ノ提案理由、又現在ノ商工會議所法ト異ナル主ナルニ付キマシテヘ、本會議竝ニ當委員會ニ於ケル商工大臣ノ提案理由ノ御説明ニ依リマシテ大體了承致シマシタガ、尙ホ二三不明ノ點ガゴザイマスルノデ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス

○岸國務大臣 商工經濟會ノ大體ノ建前ニ付キマシテハ過日來御説明ヲ申上ゲタ通り

デアリマスガ、更ニ之ヲ明瞭ナラシムル爲

シ詳細ニ又具體的ニ御説明ヲ願ヘレバ極メ

テ明瞭ニナルト存ジマス、ソレ等ノ點ニ付

キマシテ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス

○商工經濟會ノ大體ノ建前ニ付キマシテハ過日來御説明ヲ申上ゲタ通り

ノ建前ハ、生産配給消費ニ亘リマシテ、大

體重要產業部門ニ於テ縱ノ一貫シタ統制ヲ

ニ具體的ニ申上ゲマスト、今日ノ統制經濟

ノ建前ハ、生産配給消費ニ亘リマシテ、大

體重要產業部門ニ於テ縱ノ一貫シタ統制ヲ

ト相俟ツテ横ノ綜合的ナ經濟團體ヲ整備スルト云フコトガ極メテ必要デアルト云フコトニ付テハ、大體ノ御趣旨ハ能ク分ツテ居ルノデアリマス、併シ此ノ商工經濟會ヲ結成スルコトニ依リマシテ、政府ガ其ノ横ノ經濟的ナ連絡ニ付テドウ云フ點ヲ狙ツテ居ラレルカト云フコトニ付キマシテ、モウ少

ス、所ガ產業經濟ノ實體カラ申シマスト、此ノ行政機構ニ丁度對應シテ、是ト表裏一體ニナツテ、各個人ノ經濟活動若シクハ國民生活ノ面ニ現ハレル各種ノ統制ト云フモ

ノヲ綜合セシムベキ機構ト云フモノガ、十

分ニ今日マデ整ツテ居ラナイノデアリマス、

是ハ地方ニ於ケル商工會議所等ガサウ云

フ役目ヲ持ツテ近時各種ノ物價問題或ハ

物資ノ配給問題、其ノ他ノ問題ニ付キマシ

テ、地方的ニ相當ニ力ヲ用ヒテ居リマスが、

御承知ノヤウニ商工會議所ハ唯單ニ地方ノ

都市或ハ大キナ町ト云フヤウナモノヲ區域

トシテ行ツテ居リマス、ソレヲ根據トシテノ

出處上ツテ居リマスノデ其ノ活動ノ部面モ

一定ノ市又ハ町ノ範圍ニ限ラレテ居リマス、

今日ノ行政組織ノ末端ノ綜合機關トシテノ

機關デアル府縣ト、其ノ範圍ガ一樣デナイト云

フ所ニ活動ニ付テモ非常ニ十分デナイ點ガアル

ノデアリマス、又商工會議所ノ建前ハ、其ノ都

市ニ於ケル廣ク商業ニ關係スル者ヲ以ニ組

織セラレルヤウニナツテ居リマス、其ノ精神ハ

サウデアリマスゲレドモ、今日ノ構成又組

織ノ實情カラ見マスト、必ズシモ其ノ希望ガ

十分ニ達成サレテ居ラナイ、特ニ先刻來申

上ゲマシタヤウニ、中央ニ於テ各重要產業

ヲ俟タナインデアリマス、特ニ末端ノ統制

機構ト致シマシテハ、今日行政機構ノ地方

モノヲ行政的ニハ行ツテ居ルノデアリマ

ス、所ガ產業經濟ノ實體カラ申シマスト、

ノ構成者トナルト云フ建前ヲ執ツテ置ク事

付託議案
商工經濟會法案(政府提出、貴族院送付)(第七六號)
商工組合法案(政府提出、貴族院送付)(第七七號)
商工組合中央金庫法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第七八號)

ノ商工經濟會ガ綜合的ナ役割ヲ演ジマス、即チ此
ニハ、先づ第一ニ構成ノ點ニ於キマシテ縱
ニ統制サレテ居ル產業ガ、或ハ單獨ニ或ハ團
體ノ形ニ於キマシテ必ズ商工經濟會ニ加入ス
ルト云フ組織ノ點ニ於キマシテ綜合性ヲ具體的
ニ持タス必要ガアルノアリマス又運營ニ上カ
ラ申シマスト、末端ノ綜合行政機關デアル
所ノ地方廳ト、表裏一體ヲナスヤウナ此ノ
範圍ニ於キマシテ、又平素ノ運營ニ於キマ
シテ、常ニ地方廳ト密接ナ關係ヲ持チ、之
ト表裏一體ヲナシテ、地方長官ガ苟クモ此
ノ產業經濟ニ關シテ統制ノ權限ヲ行使スル
場合ニ於キマシテハ、常ニ其ノ裏面ト云ヒ
マスク、其ノ裏付ケト申シマスカ、ソレニ
ハ商工經濟會ガ食付イテ居ルトフ風ニ運
營サレテ、初メテ行政ト產業トノ一體ガ出
來ルノミナラズ、戰時經濟ノ動トモスレバ
各產業別ニバラ／＼ニナリ、不均衡ガアリ、
十分ナ調整ガ取レテ居ナイ、連絡ガ取レナ
イ構成ヲ、末端ニ於キマシテ綜合スルト云
フ作用ヲ十分ニ果シテ行ケル、斯ウ云フ風
ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○岸國務大臣　此ノ商工經濟會ニ官廳ノ權限ヲ委讓スルトカ、或ハ權限的ニ官廳トノ關係ヲ規定スルト云フ問題ニ付キマシテハ、實ハ此ノ法文ニヘ御質問ノ如ク直接ニ何モ現ハレテ居リマセヌ、私共ノ考ヘテ居リマスカ
ル猶ヒト致シマシテハ、今日統制ノ權限的ナ行使ニ付キマシテハ、先刻來申上ゲマシタリマス、併シ地方ニ於ケル中央官廳及ビ統制會等ノ權限行使ニ付テノ末端ニ於ケル綜合ニ付キマシテハ、常ニ地方長官ガ行政官廳ノ中樞トシテ當ツテ行ク、是ト商工經濟會ト云フモノヲ先程カラ御説明申上ゲテ居ル通り、非常ニ密接ナモノニ運營シテ行カナケレバナラナイ、是ハ規定ヨリモ寧ロ運營ニアル譯テアリマス、サウシテ從來ノ如ク色々ナ事柄ニ付テハ諸問スルトカ或ハ建議スルトカ云フ風ナ實ハ水臭イヤリ方デハナクシテ、常ニ産業經濟ノ統制事務等ガ行ハレル場合ニ於キマシテハ、地方廳ト商工經濟會ト云フモノハ表裏一體ニナルヤウニ、凡ニユルモノニ常ニ此ノ商工經濟會ガ裏付ケヲシテ居ル、內面的ニ常ニ密接ナ關係ヲ持ツト云フ風ニ持ツテ參リタイト云フノガ吾吾ノ考ヘデアリマス、事業ノ第一ハ「產業經濟」ニ關スル統制ニ對スル協力ト云フ、此ノ協力ト云フ文字ハ權限的ニ何ノ權限ヲ與ヘルト云フ風ナコトデハナイケレドモ、常ニマシテモ、常ニ實質的ニ之ニ參畫シ、是ト

協力シテヤルト云ノ點ニ私共ハ重キヲ置ニ居ルノデアリマス、尙ホ運用ノ實際カラ見マシテ、或ル法令等ノ權限ニ付キマンシニ特ニ此ノ協力ヲ有效ナラシメル爲ニ、商工經濟會ニ行ハシメタ方ガ宜シイト云フヤウナ問題ガアリマスレバ、是ハ商工經濟會法ノ規定デハアリマセヌケレドモ、其ノ他ニ法令ニ於キマシテ適當ニ善處スルコトハ勿論考ヘテ行ツテ宜イト思ヒマスガ、考ヘ方自體カラ言フト今申シマシタヤウナ實質的ナ運營ヲ主トシテ狙ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテハ、其ノ法律ノ趣旨ガ地方長官ニモ十分徹底致シマスヤウニ、私共此ノ施行ニ當リマシテハ十分ニ意ヲ用フル積リデ居リマス

○船田委員 只今御説明ノ點ハ、全ク左様ニシテ戴カナケレバ、實際ノ問題トシテ折角ノ大キナ改組ヲサレテモ、其ノ目的ヲ達シナイノデハナイカト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテモウ一つ根本方針トシテ承ツテ置キタイコトハ、產業經濟ノ圓滑ナシル連絡ヲ圖ルト云フコトハ極メテ重要デアリマシテ、其ノコトハ法文ノ上ニモ明示サレテ居ルヤウデアリマス、只今大臣ノ御説明ニナリマシタヤウナコトヲ實際ニヤツテ行ク上ニ於キマシテハ、唯連絡ト云ツタヤウナ消極的ノコトデハ足ラナイノデアリマシテ、實際上ニ於キマシテ、モット積極的ニ活動ヲナスベキモノデハナイカト思ヒマス、隨テ法文上ニ於キマシテ連絡ノ外ニ指導トカ或ハ強制トカ云フ文字ガ現ハレテ居極のナ意義ガ含ンデ居ルノカト云フヤウナ

○岸國務大臣 御話ノ如ク圓滑ナル連絡ト
云フ事柄ガ、言葉トシマシテハ消極的ナ感
ジヲ與ヘルカモ知レマセヌガ、私共商工經
濟會ノ活動ガ單ニ受動的又消極的ナモノニ
限ラレテ居ルトヘ思ハナイノデアリマシテ、
積極的ナ部面、更ニ能動的ナ部面モ持タナ
ケレバイカヌコト言フヲ俟タナイノデアリ
マス、事業ノ一、二、三號ヲ御覽下サイマ
スト、三號ノ產業經濟ノ改善向上ニ關スル
施設——施設ト云フノハ具體的ナ施設モア
リマセウシ、抽象的ナモノモアラウト思ヒ
マスガ、其ノ地區内ニ於ケル產業經濟ガ改
善セラレ、是ガ向上スルノニ必要ナ指導ト
カ、或ハ各種ノ具體的施設ヲ設ケテ、之ヲ
促進シテ行クト云フヤウナ仕事モ勿論考ヘ
テ居ル譯デアリマス、今日二號ノ連絡ノ問
題ニ付キマシテモ、唯單ニ受動的ナ、消極
的ナ連絡ノミナラズ、此處ニモ書イテアリ
マス通り、產業經濟ノ運營又ハ整備ニ關ス
ル連絡、此ノ運營ノ問題、或ハ產業整備ノ
問題ニ付テノ連絡ヲスル意味ニヘ、ドウシ
テモ商工經濟會議所ノ建設的ナ方策ヲ其ノ
連絡ノ際ニ立テラレナケレバナラヌコト言フ
ヲ俟タナイノデアリマス、御說ノ如ク私共
ハ單ニ之ヲ消極的ナ部面ノミナラズ、積極
的ニ商工經濟會ガ各地方ニ於ケル產業經濟
ノ改善向、又はノ整々運營ニ關シマシテ、
凡ユル部面カラ其ノ經驗ト知識ヲ傾ケテ、
國策ニ協力スルト同時ニ、其ノ調整ヲ圖ツ
テ行クト云フ積極的ナ部面モ十分ニ期待ヲ
致シテ居ル譯デアリマス

聯合會トカ若シクハ協議會ノヤウナコトニ付テノ御所信ヲ承リタイト思フノデアリマス、御承知ノ通り現在ハ、中央機構トシテ日本商工會議所ガゴザイマシテ、是ガ内地百四十四ノ會議所ノ中樞機關トナツテ居ルバカリデナク、同時ニ朝鮮、臺灣、樺太若シクハ其ノ他ノ外國、即チ滿洲、支那更ニ南方地域トカ、戰前ニ於キマシテハ「アメリカ」其他ノ外國ニ於キマシテモ會議所ガアリマシテ、ソレ等ガ日本商工會議所ニ依ツテ連絡サレテ居ル、而モ經濟ノ問題ガ段々所謂廣域圈ヲ必要トスル時代ニナリマトス地域ノ綜合機關ガ必要デアルト同時ニ、中央ニ於ケル有力ナル中樞機構ガ必要デアルト存ズルノデアリマスガ、今度ノ商工經濟會法ニ於キマシテハ、此ノ點ハ一應法文力ラ抜カレテ居ル、先般本會議ニ於キマシテノ質疑應答ニ依リマシテ、大體ノ方針ハ窺ヒ得タノデアリマスケレドモ、中樞機關及び數府縣ヲ合同シタ所ノ府縣聯合會、或ハ協議會ノヤウナコトニ付キマシテ、尙ほ詳細細ナ且ツ具體的ナ御説明ガ伺ハレバ幸甚デアリマス

カト云フ考へ方モ、私共此ノ立案ニ際シマシテ一應考へタ問題デアリマス、併シナガラ今日行政組織ノ地方機構ノ點ヘ、御承知ノ通り道府縣ト云フモノヲ單位トシテ行ハレテ居ルノデアリマス、此ノ行政機構自體ニ付キマシテモ、色々議論ノアルコトモ私共承知シテ居リマスガ、兎ニ角今日ノ地方行政機構トシテ、府縣ガ單位ニナツテ居ルノデアリマスカラ、是ト一體トナラナイト、今ノ統制經濟ノ運營ト云フモノガ實際府縣ガ中心ニナツテ行ツテ居ル現狀カラ申シマスト、動イテ行カナイト云フ實情ヲモ考へマシテ、規定ノ上ニハ之ヲ取上げナカツタノデアリマス、併シ私共ハ更ニ此ノ地方商工經濟會ガ、數府縣ガ寄ツテ聯合會ナリ或ハ協議會ト云フヤウナモノヲ組織シテ、產業經濟ト比較的密接ナ關係ノアリマス、數府縣ノ經濟會ガ協力シテ、是等ノ地域ニ於ケル各種ノ問題ヲ處理シテ行クト云フコトモ、是ハ事實問題トシテサウ云フ事柄ニ對シテハ期待ヲ持ツテ居ルノデアリマス、又實際サウ云フモノガ出來ルグラウト思ヒマス、併シ之ヲ特ニ法律ニ取上げテ法人格ヲ與ヘルトガ、或ハ法律上ノ制度トスル事柄ニ付キマシテハ、尙ほ國家ノ行政機構ノ問題トモ睨ミ合セルコトガ適當デアツテ、今日ノ現狀ニ於キマシテハ、ハツキリシタ活動ノ明確ナ、サウシテ法律自體ガ對象トスルモノニ付キマシテハ、府縣ヲ單位トスル商工經濟會ニ限ル、アトハ實際ノ問題トシテモウ少シ自然的ナ發達ノ經緯ヲ見ヨウト云フノガ、地方數府縣合ハシテノ聯合會又ハ協議會等ニ對スル政府ノ考ヘデアリマス、更ニ今日中央ニアリマス日本商工會議所ト云フ風ナ機關ヲ此ノ商工經濟會ヲ全部網羅

シテノ聯合會若シクハソレノ中権機關ノ構ヲ本法案ニ規定スルコトノ問題デアリマス、此ノ點モ實ハ私共立案ニ當ツテ考究シタ問題デアリマス、併シ御承知ノヤウニ日本ノ經濟界ノ色々ナ活動ニ付キマシテ、各共榮圈内ニ其ノ指導力ヲ連絡ラシ、是ガ指導ニ當ルヤウナ機關モ亦出來テ居ルノデアリマス、是等ノ各種ノ中央的機構ハ一部分ニ於テハ隨分重複モシテ居リマスシ、又其ノヤツテ居リマスル事柄ニ必ズシモ明確ナ分界モ立テ難イト云フヤウナ狀況デアリマス、或ハ構成者ノ點カラ見マシテモ、數團體ニ同ジ人若シクハ團體ガ入ツテ居ル、其ノ調査研究其ノ他ノ活動ニシマシテモ略、同ジャユナ事柄ガ行ハレテ居ルト云フヤウナ實情デアリマシテ、是ハ適當デナイト考ヘラレマシテ、官民共ニ是ガ整備ニ付テノ色々々意見ガアリ、又研究モ行ハレテ居ル狀況デアリマス、私共政府ニ於キマシテ今后眞ニ戰時經濟ヲ強力ニ遂行シテ行キ、更ニ東大亞共榮圈ノ經濟開發、產業開發ヲ考へ、進ンデ國際的ニ世界政策ノ一端ヲ產業經濟ノ面ニ於テ受持ツヤウナ有力ナ包括的ナ、綜合的ナ團體ガ出來ル事柄ヲ實ハ深ク期待致シテ居ルノデアリマス、商工經濟會其ノモノノ單ニ聯合會ト云フヤウナ意味デハナクシテ、全產業經濟ヲ總括、綜合致シマシテ、今申シマシタヤウナ現在又將來ノ日本經濟ノ發展ノ中権ノ有力機關が結合成サレルコトヲ政府トシテモ望ンデ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ唯商工經濟會ノ中央機構トシテ、是ノ聯合會ト云フヤウナ意味ニ

於テ今日實ハ考ヘタクナイト思フノデアリマス、其ノ組織ヲ如何ニスベキカ、ドウ云フ風ナ形デ之ヲ結成セシムベキカト云フ點ニ付キマシテハ、尙ホ者究スベキコトガ多ナルト思フノデアリマス、是ハ至急考究致シマシテ、之ニ對スル具體的ノ方策ヲ決メ、之ヲ實行セネバナラスト思ヒマス、ソレニハ商工經濟會ノ中央會ト云フモノヲ法定致シマシテ、之ヲ固定スルト云フヤリ方ハ適當デナイト實ハ考ヘタノデアリマス、實際問題カラ申シマシテ是ダケノ商工經濟會ガ各府縣ニ出來ルノデアリマスカラ、ソレノ連絡或ハ實際上ノ協議ト云フヤウナ意味ニ於テ、團體ガ全國的ニ出來ルト云フコトハ必ズシモ私共之ヲ否定スル譯デモナケレバ、之ヲ阻止スル意圖モアリマセヌケレドモ、ソレハ飽クマデ實際上ノ必要ニ依リマシテ、實際上ノ問題ニ任シテ置ク、丁度地方「ブロック」ニ於ケル協議會等ト同ジヤウニ扱ヒマシテ、出來ルダケ至急ニ申シマシタヤウニシテ、ウナ中央ノ全日本產業經濟ヲ綜合スル有力量機構ヲ作り上ダマシテ、之ニ或ハ統制會等ハ勿論ノコト、又地方的綜合經濟團體タル商工經濟會モ參畫スレバ、又其ノ他有力團體、出來得レバ大東亞全體ノ國際的ノ中國的ノ形ハ實際上ノ必要ニ應ジテノ任意ノ姿ニ置イテオク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

ノヲ法認シテアル、所ガ同ジ商工省カラ御出シニナツタ商工經濟會法ニ付キマシテハ中権機關ガナイト云フコトハ只今大臣ノ御説明デ一應了承出來タヤウデアリマスケレドモ、マダ本當ニ納得ガ行カナインデアリマス、多少意見ニ瓦ルコトニモナリマスカラ、是レ以上ハ申上ゲマセヌガ、御承知ノ通り現在ノ商工會議所法ニ於キマシテハ、第五十四條ノ第二項ニ日本商工會議所ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ外國ニ於テ設立シタル商工會議所ニ準ズル法人其ノ他ノ團體ヲ加入セシムルコトヲ得」ト云フヤウナ條文ガザイマシテ、今大臣ガ御説明ニナツタ後條ノ大東亞全廣域ニ瓦ル產業經濟團體ノ統合ト云フヤウナ觀點カラ申シマシテモ、又現在日本商工會議所ガ啻ニ内地ノ商工會議所ノ中権機關デアルバカリデナク、外地ハ固ヨリ外國ニ在ニ一つノ中権機構ヲ形成シテ居ルト云フコトハ、日本ノ產業經濟ノ發達運營ノ爲ニ、極メテ有力ナモノト思フノアリマス、然ルニ是ガ今度ノ商工經濟會法案ニ於キマシテハ、自然ノ發達、自然ノ推移ニ暫ク任スト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、如何ニモ其處ニ權衡ガ取レテ居ラナイヤウニ考ヘマスルノト、又只今御説明ノアリマシタヤウニ、產業經濟ニ關スル各種ノ團體ヲ統合シテ一つノ有力ナル中権機構ヲ御作リニナルト云フコトノ方ガ、實際上都合ガ宜クハナイカト思フノアリマス、ソレカラ外地若シクハ外國ニ在ル商工會議所若シクハ困難デアルト思ヒマスノデ、是ハ大體現

ハ商工會議所類似ノ團體、斯様ナモノニ付キマシテハ此ノ商工經濟會法ノ施行ニ際シテ、ドウ云フ御方針デ之ヲ御處理ニナルノ協議會ヲ作ルト云フヤウナコトニ、自然ノ推移ニ御任セニナル御考ヘデアルカ、又外地ニ於キマシテハ此ノ商工經濟會法ノ制定ト同時ニ、或ハ其ノ直後ニ於キマシテ、同ジヤウナ組織ノモノヲ御作リニナル御方針デアルカ、或ハ又滿洲支那ト云フヤウナ地域ニ於ケル類似ノ團體ニ對シテハ、ドウ云フ御方針デアルカ、ソレ等ノコトニ付キマシテ大體ノ御方針デ宜シウゴザイマスカラ、御説明ヲ願ヒマス

○岸國務大臣 昨年御承知ノヤウニ、内外地一元化ノ方針ヲ立テマシテ、樺太ハ之ヲ純粹ニ内地ニ編入シ、朝鮮臺灣ニ付キマシテモ、從來ノ關係ト非常ニ趣キヲ異ニシテ、特ニ産業經濟ノ方面ニ於キマシテハ、成ベク内地ト有機的ナ行政ガ行ハレルヤウナ建前ヲ取ツテ來テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、樺太ニ付キマシテハ從來ト異ナリマシテ、本法ヲ施行シ、本法ニ基イテ樺太一圓ヲ其ノ區域トシマシテ商工經濟會ヲ設ケル積リデゴザイマス、朝鮮、臺灣ニ付キマシテハ、本法ヲ其ノ儘持ツテ行ク事柄ニ付キマシテハ、多少事情ノ許サナイ點モアルヤウニ思ハレマスガ、併シ大體本法ノ趣旨ニ準ジテ律令、制令等ヲ設ケマシテ、商工經濟會ニ準ズルヤウナモノヲ作ツテ行ク考ヘデ

○岸國務大臣 昨年御承知ノヤウニ、内外地一元化ノ方針ヲ立テマシテ、樺太ハ之ヲ純粹ニ内地ニ編入シ、朝鮮臺灣ニ付キマシテモ、從來ノ關係ト非常ニ趣キヲ異ニシテ、特ニ産業經濟ノ方面ニ於キマシテハ、成ベク内地ト有機的ナ行政ガ行ハレルヤウナ建前ヲ取ツテ來テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、樺太ニ付キマシテハ從來ト異ナリマスガ、如何ニモ其處ニ權衡ガ取レテ居ラナイヤウニ考ヘマスルノト、又只今御説明ノアリマシタヤウニ、產業經濟ニ關スル各種ノ團體ヲ統合シテ一つノ有力ナル中権機構ヲ御作リニナルト云フコトノ方ガ、實際上都合ガ宜クハナイカト思フノアリマス、ソレカラ外地若シクハ外國ニ在ル商工會議所若シクハ困難デアルト思ヒマスノデ、是ハ大體現

ハ商工會議所類似ノ團體、斯様ナモノニ付キマシテハ此ノ商工經濟會法ノ施行ニ際シテ、ドウ云フ御方針デ之ヲ御處理ニナルノ協議會ヲ作ルト云フヤウナコトニ、自然ノ推移ニ御任セニナル御考ヘデアルカ、又外地ニ於キマシテハ此ノ商工經濟會法ノ制定ト同時ニ、或ハ其ノ直後ニ於キマシテ、同ジヤウナ組織ノモノヲ御作リニナル御方針デアルカ、或ハ又滿洲支那ト云フヤウナ地域ニ於ケル類似ノ團體ニ對シテハ、ドウ云フ御方針デアルカ、ソレ等ノコトニ付キマシテ大體ノ御方針デ宜シウゴザイマスカラ、御説明ヲ願ヒマス

○岸國務大臣 昨年御承知ノヤウニ、内外地一元化ノ方針ヲ立テマシテ、樺太ハ之ヲ純粹ニ内地ニ編入シ、朝鮮臺灣ニ付キマシテモ、從來ノ關係ト非常ニ趣キヲ異ニシテ、特ニ産業經濟ノ方面ニ於キマシテハ、成ベク内地ト有機的ナ行政ガ行ハレルヤウナ建前ヲ取ツテ來テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、樺太ニ付キマシテハ從來ト異ナリマスガ、如何ニモ其處ニ權衡ガ取レテ居ラナイヤウニ考ヘマスルノト、又只今御説明ノアリマシタヤウニ、產業經濟ニ關スル各種ノ團體ヲ統合シテ一つノ有力ナル中権機構ヲ御作リニナルト云フコトノ方ガ、實際上都合ガ宜クハナイカト思フノアリマス、ソレカラ外地若シクハ外國ニ在ル商工會議所若シクハ困難デアルト思ヒマスノデ、是ハ大體現

ハ商工會議所類似ノ團體、斯様ナモノニ付キマシテハ此ノ商工經濟會法ノ施行ニ際シテ、ドウ云フ御方針デ之ヲ御處理ニナルノ協議會ヲ作ルト云フヤウナコトニ、自然ノ推移ニ御任セニナル御考ヘデアルカ、又外地ニ於キマシテハ此ノ商工經濟會法ノ制定ト同時ニ、或ハ其ノ直後ニ於キマシテ、同ジヤウナ組織ノモノヲ御作リニナル御方針デアルカ、或ハ又滿洲支那ト云フヤウナ地域ニ於ケル類似ノ團體ニ對シテハ、ドウ云フ御方針デアルカ、ソレ等ノコトニ付キマシテ大體ノ御方針デ宜シウゴザイマスカラ、御説明ヲ願ヒマス

○船田委員 次ニ御伺ヒ致シタイノハ商工組合トノ關係デアリマスガ、商工組合法ニ依ツテ設立サレル統制組合ハ大體府縣單位ニナツテ行クト思フノデスガ、ソレト商工經濟會トノ關係デアリマス、今マデノ貴族院ニ於ケル御説明ヲ拜見致シマスト、商工組合法ニ依ツテ出來ル統制組合若シクハ、シテ非常ニ違フノデアリマス、例ヘバ經濟シテ非關スル團體ト致シマシテ、東京ニアリマス、恐らく百數千ノ多キニ達シテ居ル一二ノ例ヲ申上げマスト、先程大臣ノ御話ノ中ニ出て居リマシタ日本經濟聯盟會トモノガアルグラウト思ヒマス

○船田委員 今御話ノ通リニ地方ニ依リマシテ非常ニ違フノデアリマス、例ヘバ經濟シテ非關スル團體ト致シマシテ、東京ニアリマス、恐らく百數千ノ多キニ達シテ居ル一二ノ例ヲ申上げマスト、先程大臣ノ御話ノ中ニ出て居リマシタ日本經濟聯盟會トモノガアルグラウト思ヒマス

○岸國務大臣 其ノ通リ御考ヘ下サツテ宜リマス、恐らく百數千ノ多キニ達シテ居ル一二ノ例ヲ申上げマスト、先程大臣ノ御話ノ中ニ出て居リマシタ日本經濟聯盟會トモノガアルグラウト思ヒマス

○船田委員 統制協力會議トカ、其ノ他幾多ノ團體ガアリマス、恐らく百數千ノ多キニ達シテ居ル一二ノ例ヲ申上げマスト、先程大臣ノ御話ノ中ニ出て居リマシタ日本經濟聯盟會トモノガアルグラウト思ヒマス

○岸國務大臣 其ノ通リ御考ヘ下サツテ宜リマス、恐らく百數千ノ多キニ達シテ居ル一二ノ例ヲ申上げマスト、先程大臣ノ御話ノ中ニ出て居リマシタ日本經濟聯盟會トモノガアルグラウト思ヒマス

キマシテ協力スル團體、或ハ員シテ行ク
ヤウナ、例ヘバ科學動員協會ト云ツタヤウ
ナ動員ノ團體、ソレカラ單純ナ經濟產業ノ
調査團體、ソレカラ職能的ノ團體ト申シマ
スカ、大體三種類乃至四種類位ニ分ケルコ
トガ出來ヤウカト思ヒマスガ、其ノ中デ抽象
象的デ宜シウゴザイマスガドウ云ツタヤウ
ナモノヲ狙ツテ居ラレルカト云フコトノ御
方針ヲ承リタイト恩ヒマス

○神田政府委員 第三號ノ會員ニナルノ
ハ、今御話ノヤウナ色々分類モ出來マスガ、
要スルニ商工會議所ノ事業デアル目的、先
程大臣カラ御説明ヲ致シマシタサウ云フ目
的ヲ遂行致ス上ニ必要デアルヤウナモノハ、
總テ之ニ包含セシメタイト考ヘテ居ル譯デ
アリマスガ、抽象的ニ是ハ入ル、是ハ入ラ
スト云フコトハ非常ニ決メニクイノデアリ
マス、例ヘテ申上げテ見マスナラバ、先程
一寸例ニ引カレマシタ經濟聯盟トカ、其ノ
支部ト云フヤウナモノハ先程大臣カラモ御
説明申上ゲマシタヤウニ、全國經濟團體ト
云フヤウナ關係ガアリマスノデ、商工經濟
會ノ「メンバーニスルト云フコトハ適當デ
ナイト思ヒマスシ、又サウデナクテ例ヘバ
言ヒマシテ構成員ニシテ置ク必要ガアルト
思ヒマス、サウ云フコトニナルノデアリマ
シテ、是ヘヤハリ具體的ニツツキ捨ツテ
見當ツ付ケマセスト、抽象的ニ斯ウ云フモ
ノハ入ル、斯ウ云フモノハ入ラスト云フコ
トヘ言ヒニクト考ヘテ居リマス

○船田委員 只今ノ御説明洵ニ御尤モデア
リマスガ、地方長官ガ指定スル場合ニ、具

體的ニドウ云フモノヲ指定スルカ、會員個々ニ付テ指定スルカ、或ハ抽象的ニ斯ウ云フモノハ會員トスルト云フヤウナ抽象的ナ指定ヲナサルノカ、或ハ其ノ時期基準ト云ツタヤウナコトニ付キマシテ、是亦詳シイコトハ困難デアルト思ヒマスガ、大體御方針ヲ承リタイト思ヒマス

規定シテアルノデアリマスガ、先般御配付
ニナリマシタ参考資料ヲ見マシテモ、例ヘ
バ東京府ノ例ヲ申シマスト、一號會員數ト
シテ六千八百五十、二號會員數ガ千六百三
十、三號會員數八十、是ハ勿論今御話ノヤ
ウニ具體的ノ指定ヲスル場合ニハ多少ノ異
動ハアルト思ヒマスケレドモ、併シ相當多
數ニ上ルト云フコトハ豫想サレルノデアリ
マス、是等ノ會員ヲ創立總會ニ招集致シマ
シテ、此處ニ出テ居ルヤウナ設立手續ヲス
ルト云フコトニナリマスト、相當は手續
ガ面倒ニナツテ來ル、或ハ場合ニ依ツテハ
不可能ナヤウナコトガナイトモ限ラヌト思
フノデアリマスガ、何カ此ノ創立總會ヲ開
キ設立ノ手續ヲ執ルト云フ上ニ於キマシテ
便法ハナイモノデアルカ、ソレ等ノ點ニ付
テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、若
シ適當ナ便法ガアリマスナラバ、其ノ便法
ヲ御示シラ願ヒタイト思ヒマス、又法のノ
根據ヲソレニ置ク必要ガアリハシナイカト
思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ付テノ御所見ヲ
伺ヒマス

ナル譯デアリマシテ、事實上之ヲ一箇所集メルト云フコトハ困難デアラウト考ヘル、隨ヒマシテ、斯ウ云ツタ場合ニ於キマシテハ、代理出席ト云フコトモ認メテ居ル譯デアリマシテ、出來ル限り代理出席ト云フコトヲ勸誘スル、尙ホサウ云ツタ代理出席ト云ラコトデハ追付カヌト云フヤウナ非常ニ會員ノ多イ場合ニ於テハ、只今申上ゲタ書面總會ト云フコトヲ認メル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○船田委員 モウ少々細カイコトデスガ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマスノハ、商工經濟會ヲシテ行ハシムベキ事業ニ付キマシテ、モウ少々具體的ナ例示ヲシテ戴キタイト思ヒマス、例ヘバ其ノ地區内ニ於ケル價格形成ニ關スル事項デアルトカ或ハ地區内商工組合其ノ他ノ經濟團體ノ指導統制ニ關スル事項デアルトカ、或ハ又地區内ノ生活必需物資ノ綜合配給計畫ノ樹立竝ニ實施ニ關スル事項デアルトカ、或ハ地區内ノ企業整備ニ關スル事項デアルトカ、若クハ、企業ノ許可其ノ他企業ニ關スル制限又ハ制限ノ解除等ニ關スル許可認可事項ノ代行ト言ツタヤウナ、後ニ掲ゲマシタノハ主トシテ商店法、百貨店法或ハ各統制令等ニ關スル事項デアリマスガ、ソレ等ノ事項ニ付キマシテ、之ヲ商工經濟會ヲシテ行ハシメルト云フヤウナコトニナリマスレバ、商工會議所ヲ解組シテ商工經濟會ヲ新タニ設立スルコトニ非常ナ意義ガアルト思フノデアリマス、勿論出來マスル商工經濟會ノ規模ノ大ニ依リマシテ、又地方ノ實情ニ依リマシ

テ、非常ニ各商工經濟會ノ間ニ於テノ仕事又其ノ力モ違フト思ヒマスガ、一般的ニ申シマシテ、只今私ガ例示致シタヤウナ仕事ガ商工經濟會ノ事業トシテ公ニ認メラレルト云フコトニナリマスレバ、此ノ改組ノ意義ガ極メテ明瞭デアル、先程大臣ノ御説明ニナリマシタ府縣廳ト表裏一體ヲナシテ眞ニ地方ニ於ケル綜合的ノ經濟團體トシテ機能ヲ十分ニ發揮シ得ルト思フノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイ〇田中政府委員 商工經濟會ノ事業ト致シ相當廣イ範圍デ吾々モ考ヘテ居ルノデアリマシテハ、大體今御話ノアリマシタヤウニ相當時廣イ範圍デ吾々モ考ヘテ居ルノデアリマス、一二三ノ例ヲ申上ゲテ見マスト、先づ第一號ニ屬シマス統制ニ關スル協力ト云フヤウナ問題ニ付テ申シマスレバ、各般ノ統制法規ノ趣旨ヲ周知徹底セシムルト云フヤウナ事項モアリマス、又地方長官ニ從來サレテ居タ各種ノ物資ノ配給等ニ關シマシテノ配給方策ヲドウシタラ宜イカト云フヤウナ問題ニ付キマシテ參畫シ、地方長官ニ其ノ知識ヲ與ヘル、又場合ニ依リマシテハソレ等ノ實行ニ付テ側面カラ協力スルト云フヤウナ事項モアリマス、物價ノ問題ニ付キマシテモ、只今御話ノアリマシタヤウニ、地方長官ガ決メマス物價ニ付キマシテモ、物價協力會議ト云フモノガ別ニアル譯デアリマスルガ、是等トモ連絡ヲ取ツテ戴イテ、參畫スルト云フヤウナコトモシテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、其ノ他資源ノ回収ノ問題デアリマストカ、或ハ代用品ニ關スル問題、其ノ他生産増強ノ問題ニ付キマシテ色々參畫シ、協力シテ戴ク仕事ガ澤山アル譯デアリマス

題ニ付テ申上ゲテ見マスト、是モ色々澤山アルノデアリマシテ、企業整備ノ問題ニ付キマシテハ、勿論是ハ重要ナ問題トシテ當然商工經濟會ハ參畫シ、且ツ其ノ實行ニ付テ協力ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、又生產增强ノ問題ニ付キマシテハ、港灣等ヲ中心トシマシテノ運輸ノ問題、是ハ海上運輸、陸上運輸ヲ通ジ、或ハ倉庫、保管ト云フヤウナ問題ヲ通ジテ、ドウシタラ宜イカト云フヤウナ策ヲ立テ、又其ノ實行ニ付キマシテ協力シテ戴キマス、又工場ガ建設サレシク出來ル、最近出來マスノハ大體軍需工場デアリマスガ、サウ云フ工場ガ建設サレマス場合ニ、ソレ等ニ對シテ交通ノ問題ハドウスルカ、食糧ノ問題ハドウスルカ、又労務者住宅ノ問題ハドウ云フ風ニナルカト云フヤウナ、綜合的ナ計畫ニ付キマシテ商工經濟會ト云フモノノ活躍ヲ俟ツコトハ非常ニ多イト云フコトガ考ヘラレル譯デアリマス、只今申上ゲマシタノハ一二ノ例デアリマスガ、サウ云ツタヤウニ、地方長官ガ行ヒマス各種ノ產業經濟問題ニ付キマシテ全面的ニ參畫シ協力スル、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル譯デゴザイマス〇船田委員 最後ニモウ一つ伺ヒタイノハ、先程御説明ガアリマシタヤウニ、今度ノ商工經濟會ハ各府縣單位ニナルト云フコトニナリマスト、自然府縣廳ト緊密ニ連絡ヲ取ツテ行カナケレバナラヌコトニナリマス、サウスルノデハナイカト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テハドウ云フヤウニ御考ヘデアリマスノデ、決シテ依怙最員ナ考へハ持ツテ

○岸國務大臣 商工經濟會ヲ置ク場所ニ付

キマシテハ、一面縣廳トノ關係ヲ御説ノ如アルノデアリマシテ、企業整備ノ問題ニ付ケレバナラヌト思イマス、又地方ニ依リマシテハ色々ナ關係モアリマスノデ、一概ニ必ズ縣廳ノ所在地ニ之ヲ置クノダト、斯ウ固定スルコトハ適當デナカラウト思ヒマス、ソレ等ニ付キマシテハ地方長官ヤ、出來ス、ソレ等ニ付キマシテハ地方長官ヤ、出來マスル商工經濟會ノ會長ノ意見ヲ十分ニ尊重致シマシテ、適當ニ決メテ行キタイ、斯ウ思ツテ居リマス〇船田委員 私ノ質問ハ是デ終リマス〇木村委員長 ソレデハ星島二郎君〇星島委員 私ハ主トシテ商工組合法ニ關聯シテ御尋ネシテ見タイト思ヒマス、井野農林大臣カ、サモナクバ、農林次官ニ御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、今回ノ商工組合法案ハ吾々ガ多年茲ニ出ルコトヲ望ンデ居ツタモノデアリマシテ、ドウモ工業組合、商業組合ガ分レテ現在アルト云フコトハ統制力ガ甚ダ薄弱デアル、此ノ時局ニ際シテ是ハモット早ク出來上ルベキデアツタト思ヒマス、私ハ大體賛成デアリマス、賛成ノ意味ヲ以チマシテ、唯之ニ關聯シテ御尋ネシタイ譯デアリマスカラ、率直ナル打割ツタ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

第一點ハ、實ハ私共多年同業組合等ニ關係シテ居リマシテ、地方デ甚ダ困ツク問題ガ度々起ル、ト云フノハ、今回ノ法律ニ依ガ度々起ル、ト云フノハ、今回ノ法律ニ依リマシテ同業組合ガ廢止ニナルコトハ淘ニ綺麗サツバリトシテ氣持ガ好イ、併シ之ヲニ付テハドウ云フヤウニ御考ヘデアリマスガ、私共ハ兩者ニ關係シテ居リマスノデ、決シテ依怙最員ナ考へハ持ツテ居テ、廣ク解釋スレバ何デモ農村ノ資材デ

アリマス、之ヲ全部其ノ方面ニ任スト云フコトニナレバ又摩擦ガ起ル譯ズ、現ニ地區組合等ニ於キマシテヘ此ノ問題ヲ段々扱ツテ、色々ナ集會等モ作ラレテ居ルコトヲ見ルノデアリマスガ、是ハ或ヘ農村ノ主タル資材ト云フモノヲ此ノ際明示サレテ、品目ヲ明示サレテハツキリ決メテ行ク必要ガアリハシナイカト思フノデアリマス、又適當ナ委員ヲ設ケラレテ、此ノ際斯ウ云フ問題ヲ解決スルト云フコトモ、私ハ一ツノ方策ダト思フノデアリマス、私ハ産業組合ニ關係ヲ持ツテ居ル者デアリマス、唯數次ノ中小商工業者等ハ者ノ整理統合ニ依ツテ、今ハ商工業者等ハ後退シテ居ル、其ノ後退ノ虚ニマダ新シイ機構ノ十分出來ナイ所ヘ持ツテ行ツテ産組ガ伸ビテ行クト云フコトハ、甚ダ私ハ宜シクナイコトダト思ヒマスノデアリマスカラ、是等ノ點ニ付キマシテ、今出來マス商工組合ガ一面カラ見マスト甚ダ御遠慮ガアル、或ハ中央機關ノ如キニ於キマシテモ甚ダ力量強イコトニナツテ居リマスガ、トモスレバコチラガヒケヲ取ル、私ハ本當ヲ言ヘバ弱イモノダ、一面農業團體ヲ見マスト中々行ク所ガアリハシナイカ、モウ一步進ンデ兩當局ガ本當ニ話シ合ツテ一元的ナ所ヘマデ進ヌテ行クベク一種ノ方針ヲ以テ進ンデ戴キタ、斯ウ思ヒマスガ、是等ニ付キマシテ率直ナル御意見ヲ先づ承リ、若シ農林當局ガ間ニ合ヒマセヌナラバ、後デ又機會ヲ與ヘテ戴キマシテ、農林當局ノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

ノ如ク長イ沿革ヲ持ツテ居ル大事ニ問題デ、同時ニ我が國ニ於キマシテ、過去ニ於キマシテモ亦現在ニ於キマシテモ非常ニ困難ナ又重大ナル意味ヲ持ツテ居ル大事ニ問題デアリ思フノデアリマス、數年前産業組合對商業者ノ關係ヲ出來ルダケ此ノ間ノ摩擦ヲ防止シ、此ノ間カラ調整スル必要アリト認メマシテ、農林商工ノ間ニ事務ノ分界ノ不明確デアツタノヲ明瞭ナラシメヨウト云フ申セラ致シマシテ、農林商工間ノ事務調整ト云フコトヲ行ツタノデアリマス、是ハ實ハ現實ノ商工業者ト産業組合トノ團體ニ於ケル摩擦ト云フモノヲ、實體ノ方面カラスル事柄ガ一ツデアル、同時ニ産業組合ヘ農林省ガ所管シ、商工組合ヘ商工省ガ所管スルト云フ官廳ノ權限ノ錯綜シテ居ルコトカラ生ズル、官廳間ノ事務ノ調整ト云フ部面ト、此ノ二ツヲヤツテ行ク必要ガアルト云フノデ、先づ商工、農林ノ多年ノ問題デアリマシタ事務ノ調整ヲ致シマシテ、其ノ際ニ此ノ産業組合及ビ商工組合ノ分界ニ付キマジテモ一ツノ線ヲ設ケタノデアリマス、ソレハ今御質問ニモアリマシタガ、大體農林畜水產物ノ集荷ヘ産業組合ガ行フ、サウシテ配給ノ仕事ハ假令農林畜水產物ト雖モ商業者ガ之ヲ行フト云フ、集荷ト配給トデ之ヲ區別致シタノデアリマス、其ノ際ニ更ニ農村、漁村等ニ於ケル専用物資ノ扱ヒニ付キマシテハ、例へバ水產用ノ油ヲ配給ス

ヒニ付キマシテモ一定ノ標準ヲ定メテ、產業組合ノ扱フモノト商業組合ノ扱フモノトノ分界ヲ決メテ參ツタノデアリマス、更ニ之ヲ徹底シテ或へ農村ト都會トヲ分ケタ地域デ兩者ノ區分ヲ明瞭ニシヨウト云フヤウナ案モアリマシタ、或ハ取扱物資ヲ明示シテ分界ヲ明カニスルコトガ適當デアルト云フヤウナ考へ方モアリマシタ、是等ノ問題ニ付キマシテハ續イテ研究ヲ致シテ參ツテ居ル譯デアリマスガ、今申シマシタヤウナ從來カラノ非常な問題ニナツテ居ツタモノヲ集荷ト配給トデ、應線ヲ引クト云フコトデ、或ル程度ノ調整ガ出來テ參ツタノデアリマス、更ニ最近中小商工業ノ整備ノ問題ニ關聯シマシテ、今ノ御質問ニモアリマシタガ、商人等ノ整理ヲスル、先づ整理ヲシナケレバナラナイ國家的ノ要請ヲ考へテ之ヲ整理スルト云フ際ニ、產業組合ガ此ノ商業者ノ虛ニ乗ズルト云フコトハ言葉ガ適當デナイカモ知レマセヌガ、其ノ際ニ產業組合ノ方カラ商業者ノ分野ニ從來ノ分野ヲ擴張シテ來ルト云フヤウナ事態ガアリマシテ、地方ニ於キマシテモ産業整備ノ問題ヲ困難ナラシメルノミナラズ、社會的ニ申シマシテ甚ダ面白カラヌ事態ヲ發生シテ居ル、地方モアリマス、取敢ズ農林商工ノ間ニ話ヲ致シマシテ地方長官會議等ニ於キマシテモ、此ノ企業許可令ノ施行ニ當リマシテ理シナガラ新シイ産業組合ヲ作ツテ、其ノ物ノ配給ニ當ルト云フヤウナ事柄ノ許可ヲ

シマシテ産業組合が進出スルト云フ風ナ事柄ハ、政府ト致シマシテモ極力サウ云フ事態ノナイヤウニ抑ヘテ行ク方針デアリマス、然ラバ此ノ商工組合法ニ改組サレル際ニ、更ニ根本ニ踏込ンデ産業組合、農業團體ト商工組合トノ分野ヲ明確ナラシメテ、將來ニ摩擦等ノ生ズル餘地ナカラシメルヤウナ根本的ノ方針ヲ決メテ、之ヲ調整スベキモノデハナイカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ御質問ノ御趣旨トシテハ私共モ洵ニ御尤モナコトダツ思ヒマス、唯私共現下ノ戰時下ニ於キマシテハ、實ハ此ノ際餘り急激ニ摩擦ヲ生ズル事柄ハ望マシクナイ、是ハ極力避ケナケレバナラナイ、隨ヒマシテ言葉ハ甚ダ適當デナイカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ現狀維持、現在各地方ニ於テ實際上ニ動イテ居ル現狀ニ於テ安定ヲスルト云フ方針ガ、現在ノ戰時下ニ於テハ最モ適當デハナイカ、此ノ際ハ農村必需物資トシテ使ハレルモノハ從來商人ガ扱ツテ居ツタノダケレドモ、此ノ部分ハ農業團體ニ渡ストカ、或ハ地域的ニ或ル程度ノ調整ガ出來テ居ル所ヲ、今度ハ物資別ニ行クトカ、或ハ物資別デ或ル程度ノ調整ガ出來テ居ル所ヲ更ニ亂ヲ生ズルト云フヤウナ事柄ハ、實ハ此ノ地域のニ考ヘルトカ、或ハ集荷ト配給トデ一應ノ落付キガ出來テ居ル所ヲ更ニ取扱ヒ方地方ノ實情ニ合ツタ形ニ於テ之ヲ安定ス

○木村委員長 一寸申上ゲマスガ、農林當局ハ午後一時ニ見エルサウデアリマス
○岸國務大臣 産業組合ト商工組合トノ關

ル問題ニ關シマシテハ漁業組合等ノ取扱數量ヲ決メル、或ハ農村ノ農業用ノ油ニ付キマシテモ一定ノ割合ヲ決メル、又肥料ノ扱

シナイト云フ方針ヲ決メテ、之ヲ施行シテ
參ツテ今日ニ來テ居ルヤウナ状況デアリマ
ス、隨ヒマシテ此ノ産業整備ノ問題ニ關聯致

ルト云フ方針ガ最モ適當デアル、斯ウ考ヘ
マシテ、農林省トノ間ニ於キマシテモ、大
體其ノ趣旨ニ於テ兩方ノ意見ガ一致シテ居

リマスノデ、此ノ方針ヲ地方廳等ニモ十分徹底スルヤウニ致シタイ考ヘデ居リマス、唯從來動トモシマスト、政府ノ方針ガ明確ナナイ等ノ爲ニ、ソレゞノ團體ノ中央會員等ニ於ケル地方支部、若シクハ地方團體、タル或ハ政府ノ方針ガ十分徹底シナイヤウナ指示等ガ行クヤウナ憾ミモアリマシテ、地方的ニ色々ナ摩擦ヲ生ジテ居ル部面モアルヤウニ承知致シテ居リマス、是等ニ付キマシテハ農林、商工共ニ其ノ所管ノ團體ヲ十分ニ監督シ指導シマシテ、今申シマシタヤウナ方針ヲ此ノ際徹底シテ、從來カラ兎角兩者ノ調整ニ付テ執ツテ參リマシタ方針ニ依ツテ一應安定シテ居ル、又ソコニ安定セシメル、サウシテ此ノ際根本的ナ、廣範圍ナ、又程度ニ於キマシテ相當激シイ變革ガ生ズルヤウナコトハ避ケテ參リタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

ヒマス、又今ノ農林次官石黒氏、多年商工省ニ於キマシテ、商工省ノ空氣ヲ十分知ラレテ、名官吏トシテ又農林省へ還ツテ來ラレタ方デアリマス、斯ウ云フ時ニ、詰合ガ付カヌ筈ヤウナ御方針——急激ナ變化ハイケマセヌケレドモ、大體假ニ農村ノ生産資材ト云モノハ、產業組合ニ任ス、斯ウ抽象的ニ決メマスト、後、デ終始困リマスカラサウ云フ場合ニハ品目ヲ具體的ニハツキリシテ置クヤウニ、此ノ點一ツ御抜カリナクヤツテ戴キタイト思ヒマス

ソコデ第二點ハ、今度ノ農業團體法ハ、大體衆議院ノ方ハ質疑ヲ濟マシテ、懇談會ニ移ル程度デアリマスガ、詳シイコトハ存ジマセヌガ、相當力強クナツテ來テ居ル、ソコデ農林省ノ方ノ行キ方トソレカラ商工組合法ヲ通シマシテ、商工當局ノ行キ方ヲ見マスト、大體衆議統裁指導者ノ力ガ強クナツテ居ルト云フコトハ、似テ居ルノデアリマスガ、根本ニ於テ一寸違フヤウニ思フノハ、農業團體ノ方ヲ見マスト、中央機關ガ餘程強クナツテ、或ハ、産業組合中央金庫ノ如キモ強クナツテ居ルガ、只今船田君カラノ御質疑ガアリマシタヤウニ、商工經濟會ノ方ハ中央機關モマダ決メテ居ラレナイ、商工組合中央會ノ方ハ、工業組合、商業組合等ガ一緒ニナツテ行クノデスカラ、稍、前ヨリハ強クナルト思ヒマスガ、ソレデモマダ今回ノ農業團體法過ギテ、當局ノ趣旨ニ中々行カナイト云フモノヲ見マスト、餘程劣ル、一面又考ヘマスト、從來トモスレバ、餘リ力ガ強クナリヲ強クシナイ方ガ宜イト云フ御意見モアツテ、當局ノ御方針デサウナツテ居ルノカモ

知レマセヌガ、兩方力ガ等シ所ニ話モ付
イテ行クノデアリマス、一寸行キ方ニ、同
ジ政府デ改組サレル所ノ法案ヲ通シテ見マ
シテ、或ル部面ハ非常ニ一致シテ居ルガ、
モ思ヘル、今市町村長ト農業團體ノ首腦者
ガ同ジ人ガナツテ居ル場合ヘ、是ハ若シ横
ノ連絡ガ付イタラ大變ナ力ヲ持ツテ來ル譯
デス、一面カラ見レバ或ハ農業團體ノ方ハ
政府ガ意圖スル中央集權的ナ考ヘヲ以テナ
サレテ居ツテモ、結果ハ逆ナ結果ニナル、
下部組織ガ非常ニ力強クナルヤウナ場合ガ
アルカモ知レマセヌ、是ハ一寸私疑問ヲ申
シマスノデ、斯ウシナケレバナラヌト云フ
主張ヲ以テ御尋ネスルノデナインデスガ、
一寸同ジ政府カラ出サレタ案ノ中デ此ノ二
ツノ大キナ產業ニ關スル法律ノ上ニ行キ方
ガ違フヤウニ思フ、之ニ關スル御意見ヲ承
ツテ置キタイ

下部機構ニ當ル中小企業ト云フヤウナモノヲ網羅スル意味ニ於テ商工組合ト云フモノガ出來テ居ル譯デアリマス、是ハ必ズシモココニ集中スルト云フノトハ行キ方ガ違ツテ居リマシテ、寧ロ商工組合法デ組ツテ居ルノハ、商工業ノ全部ヲ此ノ組合ニ網羅スルト云フコトナクシテ、或ハ統制會ノ下部機構トシ、或ハ統制會ニ指定サレテ居ラナイ部門ノモノノ組織化、又中小企業ノ特性ヲ活カシテ行ク部面ヲ考ヘテ行クト云フヤウナコトデ考ヘラレテ來テ居ルノデアリマス、又商工經濟會ノ方ハ先程來說明申上ゲタ通り、地域的ナ綜合團體トシテ考ヘテ居ル譯デアリマス、今御說ノ如ク、何カ商工業ニ關スル限リニ於テ、中央ニ於ケル強力ナル、有力ナル機構ト云フモノガ必要デヤナイカサウシテ農業經濟ト商工經濟ト云フモノノ間ニ調整ガ十分執レルヤウニ、或ハ又更ニ理想的ニ言ヘバ、之ヲ網羅シタ農業經濟、商工經濟ト云フモノヲ更ニ網羅シタモウ一段上ノ考ヘ方モサルベキデヤナイカ、ソレニシテモ商工關係ノモノガ纏ツテ居ル中央ノ機構ヲ必要トスルデヤナイカ、ト云フヤウナ意味ニ付テノ御質問ニ關シマシテハ、先程船田君ノ御質問ニモ答ヘマシタヤウニ、今日商工關係ノ團體 組合ト云フモノニハ、今ノ統制ニ付テハ統制會ノ縱ニ組織ガアリ、地方的ノ團體トシテハ今度ノ商工經濟會法アリ、又中小商工業統制會以外ノ、漏レテ居ル商業部門ヲ網羅スル意味ニ於テ商工組合法ガアル、是等ヲ總テ網羅致シマスルト、茲ニ初メテ商工業全面ニ亘リ、或ハ縱、或ハ地域的、或ハ中小部門ト云フモノガ

網羅サレタモノガ考ヘラレル譯デアリマス、先程御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、ソレノ綜合的ナ團體ニ付キマシテハ商工省ト致シマシテモ別ニ研究ヲ致シテ居リマシテ、考ヘテ行キタイト思ヒマス

以上申述ベタヤウニ今マデノ事情トソレカラ商工業及ビ農業ノ團體、是ノ社會的ナ關係ト云フモノノ相違カラ、兩法案ニ於キマシテハ御指摘ノヤウナ相違モアルノデアリマス、私共トシテハ今申述ベタヤウナ趣

○木村委員長 ソレデハ暫時休憩致シマステ午後一時再開致シマス

午前十一時五十二分休憩

午後一時十九分開議

○木村委員長 ソレデハ休憩前ニ引續キ開

會致シマス、農林次官方見エマシタカラ、星島二郎君ニ御質疑ヲ願ヒマス

○星島委員 先程私ガ所謂產組ト商工組合兩者ノ摩擦ノ點ニ付キマシテ商工大臣ニ御承リマシタ、其ノ際ニ申上ゲマシタヤウニ、

集荷ハ產組ニ任セタラドウカト云フ御話トデ、或ル縣デハ參ツテ居リ、又昨今兩省ノ所謂委員ノ間デ話合ガ出來テ、農村ノ生

產資材ハ產組ニ仕タラドウカト云フ御話

文字デハ、ハツキリシナイカラ品目ヲ具體的ニ擱シダラドウカ、ト云フノハ丁度今ハ好

イ機會デ一方ハ農業團體ノ大改正ガ行ハレ、又一面ニハ斯ウヤツテ商工組合法ガ提案

サレテ居ル機會デアリマスシ、旁々是ハ私ハ早クカラサウ思フノデアリマスガ、期セズシテ兩大臣ハ衆議院ニ席ヲ持ツテ居ラレテ、淘ニ事情ノ御分リニナル方デアル、先程商工大臣ノ言ハレタヤウニ、既ニサウ云フ摩擦ヲナクスル爲ニ、一面カラ言ヘバ、農林商工ノ人事ノ交流ヲシテ居ルヤウナ次第アル云フヤウナ御話モアリマシテ、現ニ

石黒次官ハ農林省ヨリ商工省ニ移ラレテ、オベツカデハナイガ本當ニ評判モ好ク、商工ノ經驗ヲ積マレ農林ニ歸フレテ居ル、實際カラ言ヘバ兩省ノ經驗ヲ積ンデ居ラレル

農林次官ノ之ニ關スル御所見ヲ求メタイ、斯ウ思ツタノデアリマス、ダブリマスカラ唯要點ダケ御尋ネスルノデアリマスガ、農林省ト致シマシテハ是ノコトニ付キマシ

テドウ云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、先程本會議ニ於テ中村議員ヨリ大臣ニ質疑ガアツタ時ニ研究中デアルト云フコトデアツタ、私ハ研究中ノ時代ハ過ギテ居ルト思フ、具體的ニ斯ウノ云フ方針デ進ンデ行クベキダト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルト午前

安心致シマシタガ、農林當局ト致シマシテ御抱負ノアル所ヲ承ハリタイト考ヘマス

○石黒政府委員 産業組合ト商業者トノ物資ノ取扱ニ關スル調整ニ付キマシテハ、從來カラ大體ニ於テ中々難カシイ關係ニゴザ

イマスノデ、最近ニ於テハ、農林商工兩省トモ同様デアラウト思ヒマスガ、原則トシテハ從來ノ取扱ノ狀況ト云フモノハ變ヘナイ、

兩方ノ關係ハ變ヘナイト云フコトヲ一應全般

的ニ建前トシテ取扱ツテ居リマス、但シ其ノ間御承ノヤウナ最近ノ產業經濟ノ各

種ノ情勢ニ依リマシテ、ソコニ已ムヲ得ザ

ル何等カノ具體的ナ物資ニ付テノ取扱ノ考

慮ヲ拂ハナケレバナラナイヤウナ場合ガアルノデアリマス、左様ナ場合ニ付キマシテ

モ、兩方ノ關係ニ付テ、何等カ從來ノ狀況ヲ變ヘルヤウナ場合ニ於テハ、兩者ノ間ノ

殊ニ比較的ニ多イト思ハレル方面ノ十分ナル諒解ノ下ニ、是ガ訂正ヲ致シテ居ルト云

フノガ從來ノ大體ノ狀況デアラウト思フノデアリマス、今後之ヲドウスルカト云フコトニ付テハ、先以テ商工農林兩省ノ間ニ付

分ニ協議ヲ致シ完全ニ諒解ヲ致シマシテ、適正ナ所ヘ持ツテ行カナケレバナラナイト云フコトハ先づ第一義デアルト思フノデアリマス、要シマスルニ今日個々ノ物資ニ付

テ今ドウ斯ウト云フダケノハツキリシタ、詰リ從來現ニヤツテ居ルコトデナクシテ、

今後ドウスルカト云フ將來ノコトニ付テ申上ゲルモノヲ今持チ合セテ居リマセヌケレ

ドモ、要スルニ此ノ戰時下ニ於ケル產業經濟ノ運行ノ上ニ必要已ムヲ得ナイ事態ニ伴ヒマシテヘ、ソコニ業者ノ間ノ取扱其ノ他ニ付キマシテモ、何等カ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ場合モアリ得ルカト思ヒマス、併シ左様ナ場合ニ付キマシテヘ、ヤハリ從來カラ致シテ居リマスヤウニ、ソコニ兩方ノ關係ニ付テ十分ナル諒解ヲ持ツタ上デ、サウ云フヤウ

ソキリセヌ點ガ多イノデアリマスカラ、ドウシテモ是ハ此ノ機會ニ、假ニ農村ノ生産

資材等ニ付キマシテハ品目ヲ舉ゲテ、是ハ

產組ノ方デヤル、農業團體ノ方デヤル、是

ウシテモ是ハ此ノ機會ニ、假ニ農村ノ生産

資材等ニ付キマシテハ品目ヲ舉ゲテ、是ハ

方針ヲ明示サレル必要ガアルト思ヒマス、

方針ヲ講ジテ參ルト云フヤウニ、行カナケ

リマス、現在ノ儘デヂツトシテ居ルコト必

シモ總テノ物資ニ付テ宜イカ惡イカ、是非ハ色々問題モアラウカト存ジマスガ、要シ

テ居リマス配給ノ部面モゴザイマスガ、ソレ等ノモノニ付テモ、亦農林商工兩省ニ跨ルモノニ付テモ、十分ニ戰時下ニ於ケル民心ノ安定ト云フコトト、同時ニ又此ノ際ニ付合シテ居ル機會デアリマス、ソレニ付テモ、十分ニ協議ノ上デ進メテ參リタイ、斯様ニ付合ハスヤウデ洵ニ結構ナコトト思ヒマスガ、一面農業團體ノ方ハ當局トシマシテ斯ウ指導シヨウト思ハレテモ、下部組織ガ中々力強ク出來テ居リマスカラ、トモスレバアルノデアリマスカラ、ドウゾ是等ノ點ニ付キマシテ此ノ機會ニ遠慮ナク大體從來ノ所デ線ヲ引クト云フノモ宜イト思ヒマスガ、同業組合ガ解體シテニツニ分レル場合ガハノデアリマスカラ、其ノ場合ノ分野ガハツキリセヌ點ガ多イノデアリマスカラ、ドウシテモ是ハ此ノ機會ニ、假ニ農村ノ生産

所デ線ヲ引クト云フノモ宜イト思ヒマスガ、

テ居リマス配給ノ部面モゴザイマスガ、ソ

レ等ノモノニ付テモ、亦農林商工兩省ニ跨

ルモノニ付テモ、十分ニ戰時下ニ於ケル民

心ノ安定ト云フコトト、同時ニ又此ノ際ニ

付合シモ法律ニ依ラズシテ所謂指示或ハ懲

マスガ、最近近會社ガ色々出來ル、無論法律ニ依リ特殊會社ガ色々出來テ居リマスガ、

社ハ所謂株式會社ノ形態或ハ有限會社ノ形態、其ノ他ノ形態ヲ取ツテ居リマスケレド

モ、多分ニ公益的ナ性質ヲ加味シタモノデ
アル、併シヤハリ會社デアルガ故ニ、成リ
立チカラ言ヘバヤハリ私益法人デアリマス、
其ノ他多少混沌トシタ所ガアリマスルガ、
此ノ會社ト組合、此ノ行キ方ヲドウ云フ點デ
線ヲ引カレテ居ルカ、是ハ組合デヤツタ方
ガ宜イ、是ハ會社ノ方ガ宜イ、或ル場合ハ
會社ノ方が便利ナ場合モアルノデ、今日マ
デ來タノダト思ヒマス、或ル時ハ又社團法
人ガ宜イト云フノデ臨時社團法人デヤツテ
置イテ、後カラ組合ニシ會社ニシタコトガ
アリマスガ、ドウモ此ノ點ガ私ハハツキリ
シテ居ナイヤウニ思フ、今日幾多ノ會社ガ
出來マシテ、商工、農林關係、大藏ノ方面
ニモ出來マシタガ、殊ニ比較的實業ニ關係
ノナイ情報局トカ、サウ云フ方面カラ慾憤
ヲ受ケテ、或ハ新聞或ハ映畫等ニ付テノ會
社ガ出來テ居ル、是ハ唯一片ノ何カ證據ニ
ナル通牒モナケレバ、唯呼出サレテ斯ウシ
タラドウダト云フ程度デヤツテ居ルノモ大
分アル、ヤル時ニハ勿論國策ニ順應シテヤ
ルノデアルガ、若シ當局ガ迭ラレタ場合ニ
ドウナルノデアルカト云フ不安ヲ持ツテ居
ル人ハ多々アル、ソコデ已ムナク定款ノ中
ニ何々ノ徳憑ニ依ツテ國策ニ順應シテ此ノ
會社ヲ作ルト云フヤウナコトヲ書イテオ茶
ヲ濁シテ居ル、ソコデ何カ證據ヲ貰ヒタイ
ト云フト中々證據ヲ貰ヘナイ、ソコデ何カ
ノ拍子デ是ハ止メラレハセヌカ、何カノ場
合ニ消エハセヌカト云フヤウナ不安ヲ持ツ
テ居ルノガアルノデアリマス、ソコデ先ヅ
第一段ニ御尋ネシタイ點ハ、昨今色々ナ會
社ガ出來マシタガ、今回ノ法案ヲ見マスト、
其ノ會社ハ組合同様ニ或ハ信用組合、或ハ
中央金庫等ト連絡ヲ執ツテヤル會社トサウ

デナイ會社トガアルケレドモ、通牒ヤ指示
ヤ其ノ他ノ證據品ガアツテヤツテ居レバ宜
イケレドモ、サウデナイモノモアルシ、又
サウ云フ通牒、指示ガナクテモ國策ニ順應
スル目的ヲ以テ幾多ノ諸會社ガ出來マシタ、
サウ云フモノヲ半分ハ私益、半分ハ公益統
制ノ業務ニ携ツテ居ル、是ハボンヤリシテ
居リマスカラ何カ今後此ノ商工組合ガ愈々出
來テ行クニ付テヘ、今後ハ斯ウ云フモノハ
營團ニアリマスガ、營團ハ一々法律ニ依ツ
テ新シク出來ルノデアリマスガ、一面カラ
言ヘバ、營團法ト云フモノヲ設ケラレル意
思ハナイカ、營團法ガアツテ其ノ目的ニ副フ
ヤウナモノハ其ノ都度作ラレルヤウナコト
モ一ツノ行キ方デハナイカト私ハ思ヒマ
スノデ、最初ニ組合ト會社ノ限界ニ關シマ
シテ御伺ヒシタトイ思ヒマス

付キマシテ色々研究ヲ致シテ參ツタノデアリマス、所ガ商工省所管ノ仕事ヲシテ居リマスル會社モアリ、又農林省所管ノモノモアリ、今御指摘ノ如ク必ズシモ狭イ意味ノ經濟産業ト云フモノノデナイ方面ニ關係ヲシタモノモアリマスガ、色々各省ノ從來ノ方針ト云フモノモ區々アリマス、是等ノ間ノ研究ガ中々手間取りマシテ今日ニ至ツテ居ルノデアリマスガ、大體政府部内ニ於キマシテモ、或ル成案ヲ得マシテ、遠カラズ總動員法ニ基イテ此ノ統制會社令ト云フヤウナモノヲ御制定願ヒマシテ、是デ根據ヲ明カニシテ行ク積リデアリマス、色ンナ場合ガアリマスガ、今日殊ニ此ノ商工組合ト關係ノ面ニ於キマシテハ、從來商業組合、工業組合ノ組織ハ御承知ノヤウニ一面此ノ戰時下ニ於テ段々統制ノ權能ヲ加ヘテ參ツテ居リマスケレドモ、而モヤハリ是ガ運營ハ總會ヲ中心トスル、又任意加入デアルト云フヤウナ關係カラ、強力ナ統制ヲシテ行カウト云フノニハ、組合ガ之ヲヤツタノデハ十分デナイ、ドウシテモ一ツノ會社組織ニシテ、責任ヲ明確ナラシメ、且ツ社長、重役ノ責任ニ於テ事ヲ敏活ニ處置シテ行カナケレバナラヌト云フヤウナコトカラ、ドウモ組合ニヤラシテハ十分ニヤレナイト云フヤウナモノハ、統制會社ガ出來ル、又重要產業團體令ノ下ニアリマシタ統制組合、是ハ非常ナ統制力ノ強イ組合デアリマス、是ガ一切經濟行為ガ出來ナイ建前ニナツテ居リマス、サウスルトドウモ統制ト云フコトヲ完全ニヤツテ行ク爲ニハ、共同販賣ナリ或ハ共同購入ナリト云フヤウナ事柄ヲ行ハナケレバナラヌガ、之ヲ統制組合デヤル譯ニハ行カナイカラ、其ノ統制組合以外ニ統制會社ヲ作ツ

テ行ク、又先程申上ダタ通り、商工ニ關スル從來ノ組合デハ十分敏活ニ行ハレナイカラ、組合ノ外ニ統制會社ヲ置クト云フヤウナ狀況ガ全面的ニアツタヤウニ思ヒマス、今回ノ商工組合法ノ改正ノ一つノ狙ヒハ、私ハ中小企業ノ部面ニ於キマシテハ、成ベク組合組織デ統制ノ仕事モ又統制ニ關聯シテノ經濟事業、即チ共同購入ヤ共同販賣ノヤウナ仕事ヘ要スルニ統制ヲ確保スル手段經濟タル事業デアリマスカラ、斯ウ云フモノハ組合自ラガヤルコトガ最モ適當デアルト思フノデアリマス、然ルニサウ云フ面ニ於キマシテハ、澤山會社ガ出來テ所ルト云フ狀況デアルノデ、今後ハ出來得ル限り此ノ商工組合法ノ新シクナツテ居リマスル統制組合、是ハ統制ト同時ニ經濟行爲ガ出來ル、而モ其ノ運營ニ付キマシテハ、勿論總會ト云フモノガ色々基礎的ナモノニ付キマシテハ關興致シマスケレドモ、日常ノ統制ニ關スル仕事ノ如キハ會長、理事長以下ノ強イ責任ノ下ニ行ツテ行クト云フコトデ敏活ニ事モ處理出來マスノデ、成ベク此ノ組合ニ於テサウ云フ仕事ヲヤツテ行クヤウニ持ツテ行キタイト思ヒマス、而モ尙ホ統制會社ト云フモノガ必要ナ部面ニ於テハ残リマスモノモ少クナインシ、又今後ニ於テサウ云フモノモ作ラナケレバナラヌ部面モアルト思ヒマスノデ、之ニ付テハ根據法規ヲ作リマシテ、是ガ指導監督ヲシテ分界ト云フモノヲ明確ナラシメル、斯ウ云フ風ニ進ンデ參リタイ、唯ソレノ移リ變リノ色々ナ問題ガアリマスノデ、商工組合中央金庫法ノ改正等ニ於キマシテハ、サウ云フ會社ニ對シマシテモ、貸付ガ出來ルヤウナ根據ト規定ヲ改正致スノデアリマスガ、將來ハ成ベ

ク此ノ統制會社ト云フモノハ中小商工業部面ニ於ケルモノハ統制組合ヘ統合シテ參ツテ、二重ノ組織ニシナイ、ソレカラドウシマシタ根據法ヲ明カニシテ、是ガ指導監督ヲスルト云フ考へデアリマス
ソレカラ最後ニ營團ニ付テノ、各種ノ營團ガ出來マスガ、營團ニ付テハ今日マデソレゾレノ營團ニ付テ特別法ヲ制定願ツテ居ツテ居ルノデアリマシテ、是等營團ノ共通ナ原則的ナ、基本的ナ事項ヲ營團法ト云フヤウナモノニ制定シテ、各種ノ事業ニ適用シテ行ク、之ヲ基準トシテ營團ト云フモノヲ設立シテ行クト云フ考へ方ニ付キマシテモ、政府部内ニ於キマシテハ研究ハ致シテ居リマス、併シ今日マデノ所マダ營團ノ組織ト云フモノガ比較的新シイモノデアリ、出來テ居リマスル部門ト云フモノガ極ク限ラレタ部面デアリマシテ、又將來ニ於キマシテモ必要ナ極ク限ラレタ部面ニ其ノ必要ニ應ズル爲ニ營團ト云フヤウナモノヲ考ヘテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマシテ、營團其ノモノノ發達、是非普及ノ前途ト云フモノヲ今カラ餘り豫測スルコトモ難シイシ、又特ニ營團ト云フモノヲ促進シテ、此ノ營團組織ヲ廣ク各種ノ事業ニ促進シテ參ル事柄モ如何カト思フノデ、今日ノ所ハ必要ナ部面ニ於テ限ラレタル關係ニ於テ、特ニ特別ノ立法ヲシテ營團ヲ組織セシムルト云フコトニ進ンデ居ル譯デアリマス、尙ホ營團法等ノ制定ニ付キマシテハ、今後ノ研究ニ俟ツベキモノダグト考ヘテ居リマス

云フコトニ付キマシテヘ、多少混同シテ居ルコトハ御認メノ上デ、將來是ハ明カリシヨウ、其ノ用意ガアルト云フ御言葉ヲ聽キマシタ、殊ニ又今回ノ此ノ商工組合ヲ以テ成ベクヤツテ行クト云フヤウナ御方針ヲ承ツテ私ハ意ヲ強ウスルノデアリマス、今回ノ商工組合法案ハ、大體輿論ト致シマシテハソレヲ歡迎シテ何等反對ノ意思表示ヲスル人モナク、今ハ業者其ノ他ノ者モ覺悟シテ、複雜多岐ナモノヨリ簡單明瞭ニシテ貴ヒタイト云フ希望デアリマス、サウ云フ御方針ガアレバ是ハドシ／＼着手シテ貴ヒタイ、斯ウ恩フノデアリマス
ソコデ關聯シテ、幸ヒニ纖維局長ガオイデデアリマスカラ御伺ヒシタイト思ヒマス、私ハ纖維方面ニ若干經驗ヲ持ツテ居リマスガ從來ノ間屋關係ナドカラ言ヒマスレバ、今日ハ洵ニ宜シクナツテ居リマスガ、マダ過渡期デアツテ、ソコニ組合アリ、會社アリ、下部組織ニ於テハ小サイ有限會社、小組合或ハ代行制度色々ヤツテ居ルノデアリマスガ、殊ニ計畫經濟ニナツテハ、或ル程度朝令暮改ハ已ムヲ得ナイ、是ハ世間デモ認メマス、朝令暮改ト言ツテサウ攻撃スル人ハナイノデアリマス、惡イ點ハドシ／＼改ヌテ宜イノデハナイカト思フ、ソコデ御伺ヒ致シマスガ、今日出來テ居リマス甲號、乙號等ノ地配、或ハ會社形體ヲ以テ出來マシタコトハ合法ガ愈、實施サレルニ當リマシテヘ只今大臣モ申サレタヤウニ、成ベク是デ行ツク方ガ宜イデハナイカ、サウスルト之ニ依ツテ改組サルベキ會社モ、其ノ方ガモツト熱ガ出テ、事務的ニモ責任ヲ感ジテヤルノデ

レナイカ、會社モ一面非常ニ便利デアルケ
レドモ、トモスレバヤハリ會社ト云フ觀念
ニ囚ハレテ、ソコニ知的ナ概念ガ得出テ參ツテ、
運營上會社ヲ愛スルト云フ當然ナ氣持ガ出
テ來ルコトハ一面不都合ガ出來ルノデハナイ
カ、今急ニドウト云フコトハアリマセヌガ、
組合法ガ所謂強化サレテ行キマス場合ニ、
今ノ纖維方面、他ノ方面ニモアリマスガ、私
ガ若干經驗ヲ持ツテ居ル纖維方面ニ於テ會
社ト組合トヲ混同シテ居ルヤウニ思ヒマス
ノデ、將來是ガ議會ヲ通過シテ實施サレル場
合ニヘ、此ノ方面ニ於ケル整理統合ト言ヒ
マスカ、再改組ト言ヒマスカ、寧口商工組
合一點張リデズツト下カラ上マデ通サレル
ヤウナ御方針ヘ立テラレナインカ、寧口其
ノ方ガ宜イノデハナイカト云フヤウナ感ガ
スルノデアリマス、一々ノ例ハ色々アリマスキ
レドモ、今申上ゲマセヌガ、丁度今大臣ノ
御答辯ノ中ニ、寧口是デ行キタイト云フヤウ
ナコトガアツタモノデスカラ、多少ノ經驗ヲ
有スル此ノ方面ヲ通シテ、是ハ一面カラ言
ヘバ業者モ迷惑カモ知レマセヌケレドモ、
併シ早ク良イ方へ行クコトハ厭ハヌ譯デア
リマス、所謂統制會社ト言ヒマス、サウ云
フモノヲ上部ノ組合デヤラレタ方ガ寧ロ宜
イノデハナイカ、斯ウ云フ考ヘデスガ出來
マスコトナラバ大臣ノ御方針ヲモウ一度伺
ヒ、尙ホ當面サレテ居ル纖維局長ノ御方針
ガアレバ承リタイト思ヒマス

ノ仕事ヲ併セ行ヘシムルト云フ方針デ指導シテ參リタイ、斯ウ者ヘテ居リマス、唯現在アリマスモノヲ何處マデ整理シ、組合ニ改組シテ參ルカト云フ問題ニ關シマシテハ、是ハ色々各地ノ状態デ一樣ニハ行カスト恩ヒマス、又會社組織ニ非常ニ旨ク行ツテ居ルモノヲ、モウ一度組合ニ改組セシメルト云フ必要モ、此ノ戰時下ニ於テ成ルベク急激ナ變化ヲ避ケル意味カラ申シマシテモ、適當ナインカト思ツテ居リマス、就テハ纖維ノ事業ノ問題ニ關シテノ具體的ノ方針ニ付テノ御尋ネデアリマシタガ、纖維ノ關係ハ能ク御承知ノ通り、非常ニ從來ノ生産、取引、配給全面ニ瓦リマシテ、非常ナ複雑多岐ナ機構ニナツテ居ツタノデアリマス、之ヲ支那事變以來纖維ニ關スル統制ノ強化ニ連レマシテ、段々之ヲ單純化シテ參リ、又無統制ナ部面ヲ統制ヲ執ツテ參ツテ今日ニ來テ居ルノデアリマス、私ハ今日ノ状況方勿論完全デアルトハ思ヒマセス、併シナガラ過去ノ状況カラ考ヘマスト、非常ニ色々ナ生産配給ノ部面ガ單純化セラレテ系統的ニナツテ參ツタ事柄ハ非常ニ著シイモノガアルト思フノデアリマス、今後モ尙ホ國民ノ戰時下ニ於ケル衣料生活ノ前途ヲ考ヘテ見マスト、益此ノ生産部面ニ於テ計畫生産ノ方法ヲ進メテ行ク、又消費者ノ部面ニ於テ消費節約ヲ圖ツテ行ク、同時ニ價格操作ニ於キマシテモ低物價ヲ堅持シテ行クト云フ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ以テ此ノ機構ヲ眺メテ行キマスト、改善ヲ要スベキ點ニ關シマシテハ、今後モ尙ホ相當ニ改善ヲ致シテ行ク必要ガアルト思ヒマス、サウ云フ氣持カラ之ヲ指導シテ參リタイ

○星島委員組合デ行クカ會社デ行フカト

リマスガ、此ノ配給統制會社ノ組織サレルニ至リマシタ沿革ハ、能ク御承知ノ通り、今申シマシタヤウナ統制ヲ強化スルト共ニ、更ニ是等ノ業態ノ所謂整備、企業再編成ノ問題ト併セテアノ會社組織ノモノニ纏メテ參ツタノデアリマス、今日纖維ニ付キマシテ全面的ニ會社ノ組織ヲ組合ノ方へ乘出サセルト云フ事柄ハ、私ハ今日ノ状況ニ於テハ適當デナイ、斯ウ思ツテ居リマス尙ホ先程モ申述べタヤウナ計畫生産消費節約、價格ノ出來ルダケノ低位ヲ維持スル配給ノ圓滑ヲ期スルト云フ意味ニ於テ不完全ナ點ハ之ヲ改正シ、複雜ナル所ヲ更ニ單純ニ致スベキ所ハ單純ニ致シテ参リマスガ、同時ニ會社デ出來テ居リマスモノヲ特ニ此ノ際組合ニ又改組シ直スト云フコトハ、纖維ニ關スル限り今日ノ所適當デナカラウト思ヒマス、唯全體ノ方針ト致シマシテハ、先程來申シマシタ通り、商工組合モ成ベク之ニ統合シテ行クト云フコトハ考ヘテ行カナケレバナリマセヌガ、是ハヤハリ各種ノ業態ノ現狀ヲ見テ操作スルコトガ適當デアラウト思ヒマス、別ニ私共ハ過去ノヤツテ來タコトニ囚ハレテ申ス譯デハアリマセヌガ、相當長期間、相當な犠牲モ其ノ途中ニ於テアリマシテ、今ノ制度ガ一應出來テ、是ハ過去ノ纖維ノ狀況カラ見マスルト云フコトガ業界ニ、假令一時的デアルト雖モ、混亂ヲ生ゼシタルコトガアツテヤウナ方法デ進ンデ參リタイ、斯ウ思ツテ

○星島委員 是ハ一つノ例デアリマスガ、
今日ノ何新聞デアリマシタカ、今一寸憶エ
マセヌガ、海苔ノコトガ出テ居リマシタ、
又先般或ル事情ニ通ジタ方ノ申ス所ニ依リ
マスト、銘仙一反ガ產地デ出來テ愈々消費者
ニ渡ルマニ六十三枚ノ「ペー・ペー」ガ要ル、
サウシテソレニハ判ガ要ル、其ノ間ニハ長
イ間色々ノ機關ヲ通シテ行ク、結局原價七
圓前後ノモノガ二十何圓ニナルト云フヤウ
ナコトノ例ヲ以テ御話ガアツタノデアリマ
ス、勿論私ハ今大臣仰セノ如ク、以前カラ
見レバ實際今日戰時下ニ於テ統制サレタ形
ニナツテ、非常ニ整備サレテ來タト云フヨ
トハ私共モ本當ニ同感デアリマス、併シ今
日ト雖モ尙ホ進ンデ無駄ヲ省クト云フコト
ニハ躊躇サレヌガ宜イト思フ、商工組合法案
ヲ今期議會ニ出サレタコトニ付テハ、一面
ニサウ強イテヤラヌデモ、現狀デ行ケルデ
ハナイカト云フコトガアツタニモ拘ラズ、
ソレヲ押切ツテヤラレタト云フ其ノ御勇氣
ニハ私ハ非常ニ共鳴シタ、ダカラ其ノ意
思ヲ以テ臨マレバ、獨リ纖維方面ト云ヘ
ズ、各界ニ亘ツテ此ノ組合法ヲ運用サレテ、
サウ躊躇サレナイデドシ／＼ヤラレタラド
ウカト思フノデアリマス、一々ノ具體的ノ
コトハ申シマセヌガ、成ベク「ペー・ペー」ヲ少
クシテ、段階ヲ少クシテ行キマスニハ、丁
度此ノ法案ヲ巧ク運用致シマスレバ、餘程
私ハ助カル部分ガアルト思フノデアリマス、
經濟界其ノ他ヲ多少騒ガシメルト云フコト
ヲ御心配ナサル御心持ハ十分私ハ分リマス
キ。キヤラレルコトヲ望ムノデアリマス、
勿論大臣ノ御方針トサウ變ル筈ハナイト思

○西川政府委員 先刻大臣カラ詳細ニ御答へガアリマシタ、私ト致シマシテハ大臣ト全ク同ジ氣持デ居ル次第アリマス、唯纏維ニ關スル統制機構ハ、支那事變勃發以來次第ニ完備サレテ參ツタノデアリマス、當初ニ於キマシテハ、星島サン御承知ノ通り、非常ニ複雜多岐ヲ極メテ居ツタノデアリマス、是ガ衣料切符制ノ施行ト云フコトト表裏致シマシテ、甲乙丙丁會社ノ設立ヲ見又昨年ノ秋カラ暮ニ掛ケマシテハ、纖維ニ關スル各統制會等ノ設立ヲ見タノデアリマス、之ヲ以チマシテ、一應統制機構ガ從來ヨリズツト簡略ニナツタト思ツテ居リマス、唯併シナガラ、現在ニ於キマシテモ各統制會社ノ運行等ニ於キマシテ、御示シノ如ク、或ハ或ル程度ノ無駄ガアル、或ハ會社ノ運營上足ラザル所ガアルト云フコトモアラウカト思ヒマス、是等ノ點ニ關シマシテハ從來トモ注意ヲ致シテ居ルノデゴザイマスルガ、今後共私共トシマシテハ出來得ル限リノ力ヲ奮ヒマシテ、是等ノ弊害ヲ是正シテ行クト云フコトニ萬全ノ措置ヲ執リ、熱心ナル努力ヲ傾ケタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第アリマス、一言申上げテ置キマス○星島委員 私ノ申上げタイ點ハ、大體今仰セノ如ク、段階ヲ少クシテ簡易化スルト云フコトヲ御願ヒスル譯アリマス、ドウゾ御遠慮ナク、今度ノ組合法實施ニ當リマシテハーツヤツテ戴キタイ、之ヲ希望致シテ此ノ問題ヲ打切りマス

ル所マデハ、他ノ農業團體ト違ツテ抑ヘラ
テ居ルノデアリマス、商工組合ハ地方デ以テ
當然商工經濟會ノ方ニ加入シテ居ル、是ハ
御研究ノ結果デアリマセウガ、サウスル
トはハ私ハ放ツテ置イテモ何時カ聯盟ノヤ
ウナモノガ出來テ、必ズ中央團體ガ出來ル
コトヲ豫想スルノデアリマス、其ノ際ニ、
當然加入トシテ地方ノ經濟會社ニ此ノ商工
組合ノ下部組織ハ入ツテ居ル、ソウシテゾ
レガズツト將來中央團體ガ出來タ場合ノ其
ノ機能ト、ソレカラ此ノ商工組合中央會ノ機
能——商工組合中央會ハ當然加入デハナイ、
未加入ノ組合モアル譯デス、經費ノ強制徵
收モ無論出來ナイ、ソコニ何カシラ「ギヤ」
ブ」ガ出來ハセヌカト思フノデス、中央會ヲ
農業團體同様ニ強化スル御意見ニ付テハ先
程船田サンノ御質問ニ對シテ大臣ノ御話モ
アリマシタガ、商工組合ハ商工經濟會ニ地
方デ當然加入シテ居ル、一方ハ當然加入デ
ナイ、ソコデ此ノ商工經濟會ノ中央會ト云
フモノガ、私ハ豫言シテ置キマスガ、是ハ
必ズ出來ザルヲ得ナイ、其ノ出來タ場合ニ
商工組合中央會ト云フモノト、其ノ出來ル
デアラウト豫想セラレル中央會トノ間ヲ今
カラ考慮シテ置クベキ必要ハナイカ、是ガ
一點、今一ツ、現在ノ中央會ハ監査ヲヤツ
テ非常ニ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマスガ、
今回ハ監査ハ出來ナイコトニナツテ居ル、法
律ニナインデアリマス、是ハ或ハ施行法カ、
其ノ他デ以テサウ云フコトヲ入レルノデア
リマセウカ、削ラレタヤウニナツテ居リマ
スガ、是ハドウ云フコトデアリマスカ、其
ノ點モ承ツテ置キタイト思ヒマス

組合中央會、工業組合中央會が御説ノ通
リアツタノデアリスガ、今後商工組合トシ
テ、商業、工業ヲ分ケナコトニナリマシ
タノデ、之ヲ一括シテ商工組合中央會ト云
フモノヲ設立スルコトニ致シテ居ルノデアリ
マス、農業團體等ノ中央機關ノ如キ強イ統
制力ヲ此ノ商工組合中央會ニハ與ヘテ居ラ
ナイノデアリマシテ、其ノ仕事ハ六十九條
ニモ規定ガアリマスル通り、商工組合ノ指
導及ビ連絡ヲ圖ルコトヲ以テ目的トスルト
云フ建前ニナツテ居ルノデアリマス、今御
話ノ通り単位ノ商工組合ハ地方ニ於キマシ
テ商工經濟會ノ「メンバー」ニ全部ナルト私モ
思ヒマス、而シテ先程船田君ニモ御答ヘ申
上ゲマシタ如ク、法律ニハ規定ヲ致シテ居
リマセヌケレドモ、商工經濟會ノ中央的ナ
連絡機關モ、御話ノ通り、自然ニ私ハ發達
スルモノト見テ居リマス、隨テソレト商工
組合中央會トノ關係ハドウナルカト云フ問
題デアリマスガ、商工組合中央會ノ仕事ハ、
此ノ商工組合ト云フモノガヤハリ必要デアリマ
スガ、唯統制ノ點ハ商工組合中央會ニ付テ
ハ全然考ヘナイト云フ建前ニ相成ツテ居ル
ノデアリマス、商工經濟會ノ中央ノ機關ガ
出來マシテモ、是亦法的團體デアリマセ
ヌノデ、強イ中央ノ統制力ヲ地方ニ及ボス
ト云フ建前ニハ相成ラスト思フノデアリ
シテ、暫クノ所商工組合中央會ト、商工經
濟會ノ出來ルデアラウト思ヘレル中央ノ連
絡機關トノ間ニ何等カ仕事上抵觸ガ出來
ト云フヤウナ點ハ、實ハ豫想致シテ居ラチ
ノデアリマス

尙ホ此ノ商工組合中央會ノ監査ノ仕事ニ
付キマシテハ、法律ニハ特ニ條文ハ置イテ
居リマセヌケレドモ、商工組合ノ指導ト云
フ中ニハ商工組合ノ監査ト云フヤウナ仕事
モ自然ニ含マツテ、私モ考ヘテ居ルノデ
アリマス、實際ハ從來商工組合ノ健全ナ發
達ヲ圖ル爲ニヤツテ居リマス、サウ云フ監査
ノ有效ナル仕事等ハ今後モ引續イテヤル考
ヘデアリマス

○木村委員長 ソレデハ暫時休憩致シマシ
テ、本會議ハ三十分位デハナイカト思ヒマ
スカラ、散會後、大體二時半頃カラ再開致
シマス

午後二時二分休憩

午後三時十五分開議

○木村委員長 ソレデハ休憩前ニ續イテ再
會致シマス——星島君

○星島委員 先程私中央會ノコトニ付テ若
干御尋ね致シタノデアリマシタガ、モウ少
シ之ニ付テ御伺ヒシタインデアリマス、ソ
レハ私ハ最初ノ御質問ノ時ニ申シタヤウニ
中央會ハ相當強化シテ、決シテ從來ノヤウ
ナモノデナクシテ、任命權ヲ政府ガ持ツテ
居レバ、此ノ團體ノ中央會ガ農林省ヲ壓ス
ルト云フ心配ハナインデアリマスカラ、サ
ウ云フ懸念ナシニ是ハ強化サレテ然ルベキ
モノト思フ、サウ云フ意味ニ於テ之ヲ當然
加入トシテ總テノ組合ヲ之ニ入ラシム、
同時ニ統制會社モ之ニ任意加入デハナシニ
政府ノ息ノ掛ツタモノハ絶對加入サセテ指
導シテ行クコトガ必要デハナイカト思フノ
付キマシテハ、先刻大臣カラモ御話申上ゲ
マシタ如ク、其ノ根本ノ建前ガ統制自體ニ
ト云フヤウナ點ハ、實ハ豫想致シテ居ラチ
ノデアリマスガ、取敢ズ今日出來ル中央會ニ
加入サセル、名譽會員ト云フモノニナルカ
ドノカ知リマセヌガ、所謂商工組合以外ノ

法人若シクハ個人ガ參加スル場合、ソレハ
農業團體ノ方トダブツテ入ツテ差支ヘナイ
デセウカ、假ニ食糧營團ノ如キハ實際カラ
ヒマスレバ全部商人デス、唯食料品ト云フ
關係デ農林省ノ方ニ入ツテ居リマスケレド
モ、私ハサウ云フ意味カラ當然配給機構ヲ
扱ツテ居ルノデアルカラ、配給部面ニ屬スル此
ノ中央會ニモ所謂名譽加入ト云フカ、入ツ
テ宜イト思フ、是ハ農業團體ニ入ル、是ハ
商工組合ニ入ルト云フヤウニ大體限界ガ決
ツテ居リマスレバ其ノ點ノ御説明ヲ願ヒタイト
思ヒマスソレカラモウ一ツ商工組合法ノ第六
十九條デアリマスガ所謂指導ト云フノハ非常ニ
廣範圍ナ意味デ、先程大臣カラ監査ノ意味モ
含メルト云フ御話ガアリマシタ、商工組合
ノ加入者ヲ指導スルト云フナラバ、今ノ統
制會或ハ名譽的ニ入ツタ人ニ對シテモ指導
權ガアルカ、ソレカラ當然加入デナイカラ
未加入ノ組合ガアル筈デスガ、其ノ未加入
ノ組合モ指導スル權限ガアルカ、私ハアツ
テ然ルベキモノト思ヒマスガ、假ニ加入シ
ナクテモ、所謂中央會ト云フ名前ヲ取ツタ
以上ハ、未加入ノ組合モ一定ノ方針ノ下ニ
指導シテ行ク指導權ガアルト思フガ、法文
ノ上デハ明文ガナイ、今申シタ以外ニ商工
組合中央會ヲ農業團體ノ中央會ト同ジヤウ
ナ所マデ引キ上ガルコトガ却ツテ宜ノノ
ヤナイカ、サウ云フ點ニ付テ直接當局ノ答
辯フ伺ヒタイト思ヒマス

○豐田政府委員 商工組合中央會ノ事業ニ
付キマシテハ、先刻大臣カラモ御話申上ゲ
マシタ如ク、其ノ根本ノ建前ガ統制自體ニ
ト云フヤウナ點ハ、實ハ豫想致シテ居ラチ
ノデアリマスガ、取敢ズ今日出來ル中央會ニ
加入サセル、名譽會員ト云フモノニナルカ
ドノカ知リマセヌガ、所謂商工組合以外ノ

ノデアリマス、是ハ御案内ノ通り、商工業
ノ關係ノ統制ニ付キマシテハ統制會ノ一貫シ
テ行キ方ガアリマスル爲ニ、特ニ是トノ相
剋摩擦ヲ避ケル意味合カラ致シマシテ、商
工組合中央會ハ統制ニハ關與致サナイ、其
ノ代リ商工組合ノ指導連絡、之ニ當ツテ行
必要ダト思フノデアリマスケレドモ、只今
申上ダマスヤウナ根本精神カラ致シマシテ、
マシテ統制ニ關與致ス建前デアリマスルト、
御質問ノ如ク當然加入デ行クト云フコトガ
ト云フ考ヘ方ニ基イテ立案致サレテ居ルノ
デアリマス、其ノ指導及ビ連絡デアリマス
ガ中小企業ヲ其ノ構成分子ト致シマスル
多數ノ商工組合ニ付キマシテハ色々組合運
營ノ實務等ニ付キマシテモ指導連絡ヲ圖ル
アリマス、隨ヒマシテ其ノ仕事ハ、今日商業組合
主トシテ組合運營ノ實務ニ關スル指導及ビ
連絡ヲ圖ルト云フノラ目的ニ致シテ居ル譯デ
アリマス、隨ヒマシテ其ノ仕事ハ、今日商業組合
中央會ガヤツテ居リマスルア云フ行キ方ヲ
連絡ヲ圖ルト云フノラ目的ニ致シテ居ル譯デ
アリマス、隨ヒマシテ其ノ仕事ハ、今日商業組合
中央會ガヤツテ居リマスルア云フ行キ方ヲ
存ズルノデアリマス、デ商工組合中央會ノ
今後中小商工業ニ瓦リマシテ事業ト致スト云
フ風ニ御考ヘ願ヒマスレバ大體宜シイカト
アリマス、隨ヒマシテ其ノ仕事ハ、今日商業組合
中央會ガヤツテ居リマスルア云フ行キ方ヲ
連絡ヲ圖ルト云フノラ目的ニ致シテ居ル譯デ
アリマス、其ノ外ニハ役員ノ選出等ノ關係
カラ他ノ者ヲモ之ニ加入シ得ル途ヲ開イテ
置クコトガ便宜ダト思ハレマスルノデ、其ノ
アリマス、其ノ外ニハ役員ノ選出等ノ關係
シテハ商工組合ニ限ルト云フ考ヘ方デアリ
マス、隨ヒマシテ食糧營團等モ亦商工組合

○星島委員 私ハ名譽加入トシテ他ノ統制會社、詰リ組合トシテモ宜イデアラウト思ハレルノフ今會社ニサレテ居ルヤウナ會社、斯ウ云フモノハ今度ノ中央會ニ入り得ルノデハナイカト思フノデアリマスルガ、ソレハ併シ定款ニ依ツテ決メラレルノデアリマスカ、或ハ施行細則ニ決メラレルノデアリマスカ、何レニシテモ入ル必要ガアラウト思フ、殆ド組合モ會社モ同ジ形デ唯便宜上今會社ニシテ居ル、先程大臣ノ御答辯ニモアリマシタヤウニ、或ハ組合ニシタ方ガ宜イカモ知レヌト云フヤウナモノモアル譯ニアリマスカラ、サウ云フノハ當然加入セシメテ、同様ニ指導シテ行クト云フコトハ必要デアラウカト思ヒマスガ、今ノ御言葉ニ依リマスト、唯役員關係ニ名譽加入ト云フノハホンノ限ラレタ範圍デアル、限ラレタル範圍デアリマスレバ、ソレハドノ程度ノモノデアルカ、ソレカラ一體會社ト云フヤウナモノハ農林商工兩方面ニ跨ツテ仕事ヲヤツテ居ルモノガ澤山アリマスルガ、ソレハ兩方ニ入り得ルコトモアルノデアリマセウカ、其ノ點如何デアリマスカ

○星島委員 私ハ一寸此ノ法案ノ要旨ト云
フヤウナモノヲ讀ンデ、ソレデ今御質問ス
ルノデアリマスルガ、例ヘバ只今衆議院ヲ
通過シマシタ市街地信用組合ノ改正案、ア
レニ依リマスト、商工組合ニ關シタモノガ
ヤハリ市街地信用組合ニモ入り得ル、サウ
シテ市街地信用組合ヲ通シテ産業組合中央
金庫ト取引ガ出來ルヤウナ途ガ開カレテ居
ル、転テ又商工組合中央金庫ノ方面ニモ
農業團體ノ方カラ入ツテ來ルヤウナコトモ
行ハレハシナイカ、又ソレデ宜イト思フノ
デス、サウシテ互ヒニ多少重複ハシマスガ、
何時カハ全體ガ統制サレル時期ガアリハシ
ナイカト思ヒマス、此ノ中央會ニ名譽加入
スル統制會社ト云フモノハ、今ハツキリ決
マツテ居ル譯デハナイノデアリマスカ、其
ノ點ヲモウ少シハツキリ伺ヒタイト思ヒマ
ス 譯デアリマス

○星島委員 次ニ理事長竝ニ理事等ノ權限
會ノ構成分子ニスルト云フコトハ先程モ申
述ベマシタ如ク、只今ノ所豫想致シテ居ラ
ス

○豊田政府委員 統制會社ヲ商工組合中央
會ノ構成分子ニスルト云フコトハ先程モ申
述ベマシタ如ク、只今ノ所豫想致シテ居ラ
ス

テラレルコトニ相成リマスノデ、農業團體ニ收容
ノ系統ノ方ニ入ル、隨ヒマシテ商工組合中
央會ノ權成分子ニハ農業團體ヲ考ヘて居ラ
ス

所謂指導原理トカ、衆議統裁トカ云フヤウ
ナ言葉ガ使ハレテ居ル譯デアリマスガ、
從來トテモ本當ニ理事長ニ其ノ人ヲ得レバ
實際ハ其ノ通リニ運用シテ參ツタノデアリ
マス、之ヲ今後法律トカ規則ノ上デ一層強
化スルコトニナツタノデアリマスガ、併シ
一面トモスレバ、良イコトデアツテモ專斷
スルコトニ依ツテ不愉快ヲ感ズル氣分カラ
是ガ餘リ行過ギルト却テ問題ヲ惹起スル盧
ガアルト私ハ考ヘル、ソコデ一ツ伺ビタイ
點ヘ、今回ハ理事ハ理事長ガ許可ヲ得テ任
命スルト云フコトニナツテ居リマスガ、
此ノ理事ノ責任、ソレカラ理事ハ理事會ヲ
結成スルコトガナイヤウニナツテ居リマスガ、
併シ事實上理事會ト云フモノへ行ハレ
ルコトト思ヒマスガ、本當ハ是ハ施行細則ノ
中ヘデモ盛ツテ貰ツテ、現存ノ良イ點ハ成ベ
ク残シテ貰ヒタク、即チ理事長ノ專斷——實
際ハ理事長ガヤルコトニナツテ居ツテモ、
重大ナコトハ必ず理事會ニ掛ケテ其ノ理事
會ノ承認ヲ得、理事會ガ承認シナイ場合ハ
原案執行出來ルガ、詰リ責任ヲ分擔スルト
云フ氣持ガ必要デハナイカト思フ、此ノ理
事ハ理事長ガ事實上任命スルヤウナ形ニナ
ツテ、而モ理事長ガ全然理事ニ相談シナイ
デヤリ得ルノデアリマスガ、假ニサウヤツツ
タストレバ、理事ハ何ノ爲ノ理事ダト云フ
ヤウナ感じガ起ツテ、ソコニ一種ノ不愉快
サヲ伴ヒ、物事ガ「スムース」ニ行カヌヤウ
ニナル虞ガアリハシナイカト思ヒマスガ、
何カ從來ノ良イ點ヲ殘ス爲ニ、法文ノ上ニ
ハ現ヘレテ居ナイケレドモ、施行細則ノ上
トカ、御實施ニナル場合ニサウ云フコトヲ
御考慮ニナルコトガ必要デハナイカト思ヒ
マスガ、御意見ハ如何デアリマセウカ、ソレ

ガ 一 点 デ ア リ マ ス
今 一 ツ ハ 今 回 ノ 罰 則 ヲ 見 マ スト、 理 事 長
ノ 権 限 ガ 强 ク ナ ツ タ ダ ケ ニ、 一 面 又 非 常 ナ
責 任 ヲ 取 ラ ナ ケ レ バ ナ ラ ス 譯 デ ア リ マ ス ガ、
實 際 ニ 於 テ 理 事 者 ナ リ、 其 ノ 以 下 ノ 者 ガ、
或 ハ 統 制 違 反 等 ガ ア ツ タ 場 合 ニ、 此 ノ 法 人
ト シ テ ノ 代 表 者 タ ル 理 事 長 ガ、 常 ニ 責 任 ヲ
帶 ビ ル ト 云 フ コ ド ハ、 今 日 ノ 法 律 ノ 建 前 力
ラ 當 然 デ ア ル ガ、 若 シ 理 事 會 ニ 挂 ケ テ、 或
ハ 理 事 ノ 承 認 ヲ 得 タ 上 デ、 ソ ノ 理 事 ノ 縮 尻
ガ ア ツ タ 場 合 デ モ、 其 ノ 法 人 ヲ 代 表 スル モ
ノ ト シ テ、 常 ニ 總 テ ノ 罰 則 ヲ 理 事 長 ガ 之 ヲ
イ ダ ケ ニ、 又 理 事 長 ノ 権 限 ガ 强 イ ダ ケ ニ、
帶 ビ ル ノ デ ア ラ ウ カ、 サ ウ 云 フ 點 モ 今 後 仕
事 ヲ ャ ツ テ 行 ク 上 ニ 於 キ マ シ テ、 罰 則 ガ 重
イ ダ ケ ニ、 又 理 事 長 ノ 権 限 ガ 强 イ ダ ケ ニ、
餘 程 サ ウ 云 フ 問 題 ヲ 考 ヘ テ 置 カ ナ ケ レ バ ナ
ラ スト 思 フ、 ソ レ ガ 第 二 點 デ ス

今 一 ツ ハ、 何 條 デ ア リ マ シ タ カ、 不 適 当
ト 認 メ タ 時 ニ ハ 解 任 ガ 出 来 ル ヤ ウ ニ ナ ツ テ
居 リ マ ス ガ、 此 ノ 不 適 当 ト 云 フ パ 解 釋、 是 ハ
ド ノ 程 度 デ 不 適 当 ト 云 フ コ ド ニ ナ ル ノ デ ア
リ マ セ ウ カ、 例 へ ベ 違 反 事 件 ニ 關 係 シ タ 者
ハ、 不 適 当 ト 云 フ コ ド ハ 通 念 ト シ テ 考 ヘ ラ
レ ル ノ デ ア リ マ ス ガ、 理 事 長 其 ノ 人 ヲ 得 ズ
シ テ、 假 ニ 總 會 ノ 権 限 デ ハ ナ イ ケ レ ド モ、 殆 ド
總 會 ニ 等 シ イ 組 合 員 全 部 ノ 人 ガ、 理 事 長 ノ
不 信 認 ヲ 非 公 式 ニ デ モ 總 會 ノ 決 議 ヲ 以 テ 迫
ツ タ ヤ ウ ナ 場 合 ニ ハ、 ソ レ ハ 統 戒 ス ル 能
力 ガ ナ イ ノ ガ カ ラ、 之 ヲ 不 適 当 ト 認 メ
ル 爲 ニ 當 局 ハ 不 適 当 ト 認 メ ラ レ ル ノ カ、 不
適 当 ト 認 メ ラ レ ル 根 源 ニ、 組 合 員 ノ 意 思 カ
取 入 レ ラ レ ル カ ド ウ カ、 此 ノ 點 ハ 第 三 點 ハ

シテ伺ヒタイ

今一ツハ、統制違反等ニ一旦掛ツタ人ガ、理事長ナリ理事ニナルコトヲ拒否シナケレバナラヌコトハ、時節柄當然デアリマス、併シ數多イコトデアルカラ、有能ナ人ガ一寸シタ過チカラ統制違反ニ掛けタト云フヤウナ場合ニ、ソレガ何時マデモ局ニ當リ得ナイト云フコトハ、是ハ甚ダ氣ノ毒デモアリ、國家ノ損失デアリマス、丁度先般モ大御心ニ依リマシテ復權ガアリマシタガ、サウ云フ復權トマデ行カナクテモ、何カ一定ノ違反ニ對スル復權ノ内則ト云ヒマスカ、何年經ツタナラバ宜イト云ヤウナコトガ、私ハ必要デナイカト思ヒマスガ、是等ニ對シマシテ御當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、以上四點ニ付テ御答辯戴キタイト思ヒマス

制ガ付カヌト云フヤウナ場合ニ於キマシテ
ハ、之ヲ不適當ナルモノトシテ、扱ヒ得ル
ト考ヘマス、罰則ニ付キマシテハ、罰シ得ル
條ニ於キマシテ、理事長モ固ヨリ罰セラレ
ルノデアリマスガ、理事モ其ノ行爲、其ノ
場合ノ責任如何ニ依リマシテハ、罰シ得ル
建前ニ相成ツテ居ル譯デアリマス、尙ホ最
後ニ御尋ネノアリマシタ統制違反者ノ役員
選任ニ付テノ缺格性、之ニ付キマシテハ當
該事犯ノ内容或ハ輕重等ヲ考ヘマシテ、具
體的ニ其ノ場合ニ判斷シテ行クノ外ナイカ
ト考ヘテ居リマスノデ、只今ノ所之ヲ内規
等ニ依リマシテ、抽象的ニ決定シテ置カウ
ト云フ風ニハ、考ヘナイ方ガ寧ロ適當デハ
ナイカ、左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス
アレハドウ云フコトデアリマスカ

○星島委員 先程御尋ネシタ未加入ノ組合
ニ對シテ、中央會ニ指導權ガアルカナイカ
ト云フコトノ御答辯ガナインデアリマスガ、
○豊田政府委員 今回ノ建前デ參リマスト、
商工組合中央會ハ統制ニ關與シナイ、隨
テ當然加入デハナクテ、任意加入ト云フコ
トニナツテ居リマス關係上カラ未加入ノ組
合ガアリ得ル譯デアリマスガ、之ニ對シマ
シテ指導或ハ連絡ヲ致サナイト云フコトガ、
當然ノ結果トシテ現ハレテ來ルノハ已ムヲ
得ナイ譯デアリマス

○星島委員 實際カラ言ヒマスレバ未加入
ガナイヤウニ指導シテ行ケバ、全部ガ入ル
ト思ヒマスケレドモ、六十九條ノ法律ノ建
前カラ申シマスレバ、全體ヲ指導スルト云
フ風ニ、中央會トシテモ私ハヤツカ方ガ宣
イデハナイカト思ヒマス、是ハ私見デアリ
マスガ、今一つ關聯シテ御伺ヒシタイノ
ハ、本法ノ施行ニ依リマシテ、從來ノ同業

組合ハ解散サレルコトニナル、此ノ解散ノ時期ハ一體何時頃ニナルカ、ソレヲ御尋ネシタ伊チ思ヒマス、同時ニ同業組合ヲ商工組合ニ改組スルニモシニクイ、サリトテ農業團體ニモ行カレナイ組合モアル、是ハ實ニ私自身デ關係シテ居ル岡山縣ノ蘭草組合、是ハ農業ト云ヒナガラモ商業部面ガ非常ニ多イ、之ヲ一部面商業組合ニ一應ヘ致シマシタケレドモ、殘ツタ部分ハドウシテモ商業組合ニナリ得ナカツタノデ、同業組合トシテ今日マデ残ツテ居ルノデアリマスガ、今回ノ商工組合ノ統制組合ニハ最モ當嵌マル、併シ商工ト云フ字ガアル爲ニソレニ捉ハレテピント來ナイガ、サウ云フモノガ他ニモアルノデアリマス、斯ウ云フモノハ成ベク施行ニ當ツテ、假ニソレガ商工業デナクテモ、此ノ統制組合ニシツクリ當嵌ツテ、旨ク運用ガ出來ルト云フ場合ニハ、ソレガ必ズシモ社會待遇念デ云フ商工業組合デナクテモ、同業組合ヲ廢止スルニ當ツテ是ノ方ニ發展解消シテ、商工組合ニナリ得ルナラバ、統制組合トシテソレヲ許サレル、斯ウ云フ方針デ今ノ同業組合ヲ麗麗ニ一ツ解消スル爲ノ、一ツノ便法トシテ解釋シテ戴キタイ、詳シク之ヲ實際ニ付テ御話スレバ分ツテ戴ケマスガ、今此處デ述ベルト長ク時間ヲ取リマスカラ御遠慮申シマスガ、サウ云フコトモ行ヒ得ルヤウニ頼ヒタイト存ジマスガ、御意見如何デアリマスカソレカラ現在ノ商業組合、工業組合ヲ此ノ商工組合ニ改組スル場合ニ、一々色々ナ手續ヲ執ラナイデ、現在ノ組合ヲ總會ノ決議カ何カニ依ツテ直ぐ今回ノ統制組合ニ改組サレルヤウナ便法ガアルヤウニ新聞ニ出テ居リマシタガ、サウ云フ點ニ付キマシテハ

○ 豊田政府委員 本法案が成立致シマシタ
ナラバ、其ノ施行ノ時期ハ大體七月頃ト考
ヘテ居ルノデアリマスガ、其ノ後一箇年間
ハ——大體一箇年間ト只今ノ所ト考ヘテ居
ルノデアリマスガ、其ノ間ハ重要物産同業
組合法等モ其ノ效力ヲ有スルコトニナツテ
居リマスノデ、同業組合等ガ改組致サネバ
ナラストト云フ時期ハ、大體施行時期デアリ
マス七月以降一年位ノ間ニナルモノト考ヘ
ルノデアリマス

云フ考へ方カラ致シマシテ、附則ニ於キマシテ相當細カイ規定ヲ設ケテ居ルノデアリマスガ、之ヲ簡単ニ申上ゲマスナラバ、重要産業團體令ニ依リマスル統制組合ハ本法施行ノ時期ニ於テ、其ノ儘今回ノ新統制組合ニ乘リ變ツタモノト看做サレルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、商業組合、工業組合或ハ同業組合等ハ、先程申述ベマシタ一定ノ猶豫期間ニ於キマシテ、定款ノ作成ノ他必要ナル事項ヲ取定メマシテ、行政官廳ノ認可ヲ受ケマスナラバ、今回ノ新組合ニナル、其ノ開財產、權利義務等ニ付キマシテハ其ノ儘包括承繼ノ途モ認メテ居ル譯デアリマス、又其ノ移轉ニ伴ヒマシテ稅ガ課カルト云フヤウナ場合ニハ、之ニ對シマシテ特別ノ减免ヲ行フト云フ風ニモ致依リマシテ、適當ナル指導ヲ致シマスナラバ、業界ニ混亂ヲ與ヘズシテ今回ノ新組合ニソレト云フ、適當ナル乘リ移リガ出來ルト考ヘテ居ル次第アリマス

○星島委員 大體ハ分リマシタガ、今回ノ法案ハ通過スルモノトシテ業ニ已ニ各業界ハ之ヲ迎ヘテ凡ユ準備ヲシテ居ルヤニ見ラレマスカラ、ドウゾ願ヘルナラバ其ノ施行規則等モ成ベク早ク制定サレマシテ、之ヲ早ク發表サレテ是ノ準備ニ資セラレンコトヲ希望致シマス

最後ニ私ハ一點中央金庫ノ問題ニ付キシテ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、ソレハ今回市街地信用組合法ガ衆議院ヲ通過致シタノデアリマスガ、アノ市街地信用組合、商工組合モ團體トシテ參加シテ行クコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、所ガ今日商工業者特ニ中小商工業者ニ於キマシテ、政府ノ懲懲指示ニ

依リマシテ有限會社其ノ他ノ小會社ガ澤山出来テ居リマス、是ガ今回商工中央金庫ノ方デ政府ノ認可ガアレバ短期ノ貸付ガ出來ルヤウニ改正サレルサウデアリマス、一方商工一定ノ猶豫期間ニ於キマシテ長期ノ金融ヲモ致スコトニシテ、其ノ儘今回ノ新統制組合ニ乗リ變ツタモノト看做サレルト云フコトノ商工組合ノ中央金庫ノ方ニ於キマシテハ短期ノ貸付、而モソレハ認可ヲ要スル、非常ニ是ハ消極的ナコトニナツテ居リマス、實際ニ於キマシテ殆ド組合同様ノ小會社ガ澤山アリマス、是等ハ當然長期ノ貸付モ出來ルヤウニスルノガ本當ヂヤナイカ、又商工組合中央金庫ノ方ニ貸付ケラレテ連鎖スル以上ハ、又其ノ組合ナリ會社ガ其ノ中金ノ方ニ預金ラスルト云フ繫リガ必要デハナイカ、ソレガ塞ガレテ居ルノハドウ云フ譯デアルカ、ソレハ市中銀行ナドニ對スル影響ヲ思ツテ止メラレタト思フノデアリマスガ、循環カラ云ヒマシテモソレガ當然ノ便宜ダラウト思ヒマス、詰リ商工組合中央金庫ハ將來所謂組合ノ金庫デナクシテ、其ノ統制會社其ノ他ヲ綜合シテ、今回丁度産業組合中央金庫ガ農林金庫ト言ハレルヤウニ、中央金庫モ同ジク商工金庫ト云フ組ヒノ所持ツテ行クベク總テガ準備サルベキデハナイカ、斯ウ云フコトニ付キマシテ中央金庫ノ折角ノ改正ガアル場合ニ、之ヲ強化スル意味ニ於キマシテ希望ヲ述べ、且ツ當局ノ御意見ヲ聽キタイノデアリマス

○豐田政府委員 商工組合中央金庫ハ所謂組合ノ特殊金融機關ト致シマシテ設立セラレテ居リマスル關係上、其ノ資金ノ貸付對象モ自然限定セラレテ居ル譯デアリマス、併シナガラ御話ノ如ク統制會社或ハ有限會社ガ、新設セラレルト云フコトガ企業整備等ノ關係上段々現ハレテ參ツテ居リマスノ等、之ニ對シマシテ長期ノ金融ヲモ致スコトニシテ、其ノ儘今回ノ新統制組合ガ市街地信用組合ノ方ニ入ツテ、其ノ方デ行キマスト、産業組合中央金庫ヲ移轉サンテ長期ノ貸付ヲヤル、サウシテ此ノ商工組合ノ中央金庫ノ方ニ於キマシテハ短期ノ貸付、而モソレハ認可ヲ要スル、非常ニ是ハ消極的ナコトニナツテ居リマス、實際ニ於キマシテ殆ド組合同様ノ小會社ガ澤山アリマス、是等ハ當然長期ノ貸付モ出來ルヤウニスルノガ本當ヂヤナイカ、又商工組合中央金庫ノ方ニ貸付ケラレテ連鎖スル以上ハ、又其ノ組合ナリ會社ガ其ノ中金ノ方ニ預金ラスルト云フ繫リガ必要デハナイカ、ソレガ塞ガレテ居ルノハドウ云フ譯デアルカ、ソレハ市中銀行ナドニ對スル影響ヲ思ツテ止メラレタト思フノデアリマスガ、循環カラ云ヒマシテモソレガ當然ノ便宜ダラウト思ヒマス、詰リ商工組合中央金庫ハ將來所謂組合ノ金庫デナクシテ、其ノ統制會社其ノ他ヲ綜合シテ、今回丁度産業組合中央金庫ガ農林金庫ト言ハレルヤウニ、中央金庫モ同ジク商工金庫ト云フ組ヒノ所持ツテ行クベク總テガ準備サルベキデハナイカ、斯ウ云フコトニ付キマシテ中央金庫ノ折角ノ改正ガアル場合ニ、之ヲ強化スル意味ニ於キマシテ希望ヲ述べ、且ツ當局ノ御意見ヲ聽キタイノデアリマス

○木村委員長 只今ノハ承知致シマシタ、ソレデハ本日ハ是デ散會致シマシテ、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

昭和十八年二月二十一日印刷 昭和十八年二月二十一日發行

衆議院事務局 印刷者 内閣印刷局